

SIRCAD / 壁式

(壁構造・壁式 RC 造構造図 自動作図システム)

スタートアップガイド



株式会社 ソフトウェアセンター

技術協力 JSC 株式会社

<Program Ver2.0>

ご注意

- このソフトウェアおよびマニュアルの全部若しくは一部を無断で使用、複製することはできません。
- ソフトウェアは、コンピュータ 1 台につき 1 セット購入が原則となっております。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果による影響に関しては、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアをご使用になるには、別掲の[ソフトウェア使用許諾条項]にご同意いただく必要があります。ご使用と同時に、同条項へのご同意があったものとさせていただきます。
- CAB32.DLL はフリーソフトウェアです。著作権等は以下の通りです。
This dynamic link library is based in part on the Microsoft's CAB-SDK.
Copyright © Microsoft Corporation 1993-1997 All Rights Reserved.
Copyright © K.Miyauchi 1997-2001 All Rights Reserved.

商標について

- 日本語 **Microsoft® Windows® 7** は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- 日本語 **Microsoft® Windows® 8.1** は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- 日本語 **Microsoft® Windows® 10** は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。

目次

1	はじめに	1
2	『SIRCAD/壁式』の概要.....	2
	制限事項.....	3
	ユーザーズマニュアルの参照方法	5
	『SIRCAD/壁式』の基本操作	6
3	構造計算データを『SIRCAD/壁式』に変換する	10
	変換手順.....	11
4	3D表示で視覚的に建物データを確認する	14
	3D表示でVRMLファイルに変換する.....	14
5	定義と配置を追加する.....	15
	配置の基本操作.....	15
	壁定義を追加する	18
	壁を配置する	19
6	配置データを編集する.....	22
	壁の寄りを設定する	22
7	図面を作成する.....	24
	基礎梁リストを作図する	25
	作図設定の変更方法	28
	変更の手順	29
	変更点を作図に反映させるには	35
8	図面を印刷する.....	36
	印刷する.....	36
9	2DCADに変換する	37
	AutoCAD (dxf ファイル) に変換する	38
	jw_cadに変換する.....	40
	DRA-CADに変換する.....	42
10	製品サポートサービス.....	44
	お問い合わせ先.....	44
	最新版を取得する	45
	サポートオプション	46
	謝辞.....	47

1 はじめに

本書は、『SIRCAD／壁式』の基本的な使い方をご説明する操作ガイドです。
初めて『SIRCAD／壁式』をご使用する方は、本書を一通りご覧になる事をおすすめします。
より詳細な情報が必要になったときは、ユーザーズマニュアル (PDF ファイル) を参照してください。

2 『SIRCAD／壁式』の概要

壁構造・壁式 RC 造構造図自動作図システム『SIRCAD／壁式』は、以下の特徴を持っています。

壁構造図自動作図

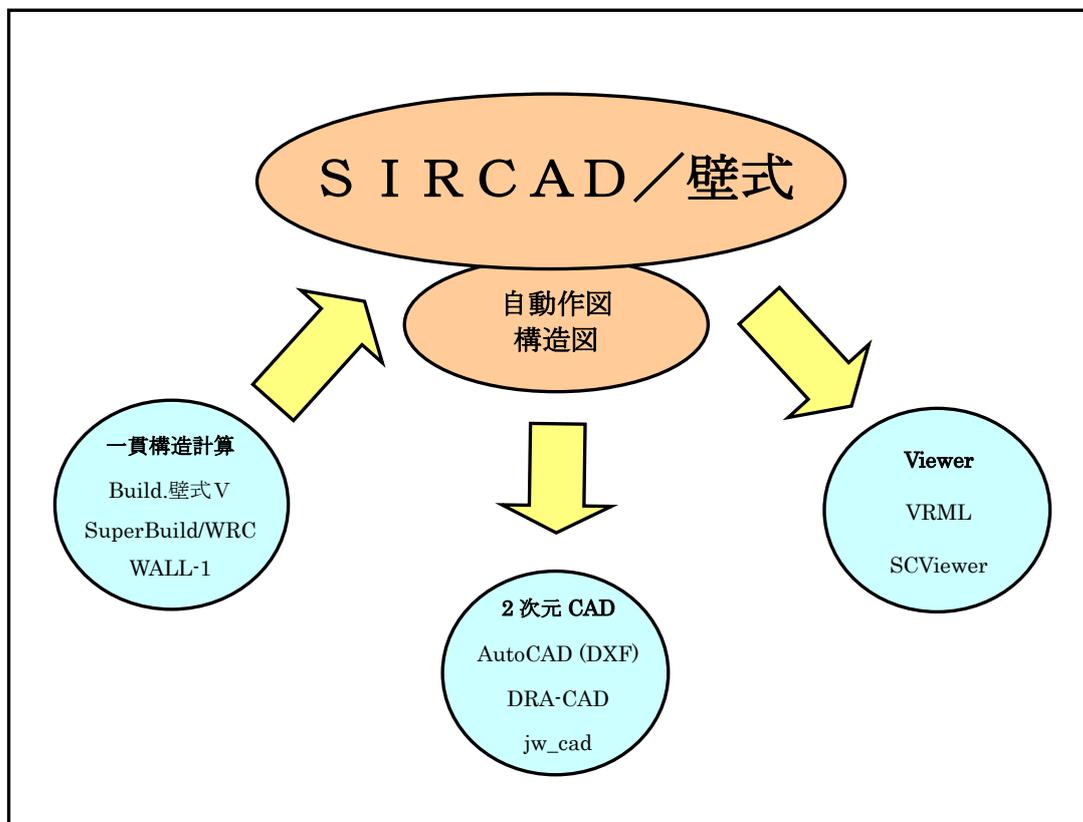
壁式 RC 造の設計をビジュアル的に支援し、壁構造図の自動作図を行うことができます。

一貫構造計算との連携

一貫構造計算のデータを活用して、短時間に構造図を作図することができます。

SIRCAD 機能を継承

一品生産を前提とする建築の設計は、形状も工法も多様です。加えて、年々新材料・新工法が開発されていますが、それに伴った設計図の表記法の変化に対応した SIRCAD の機能を継承しています。

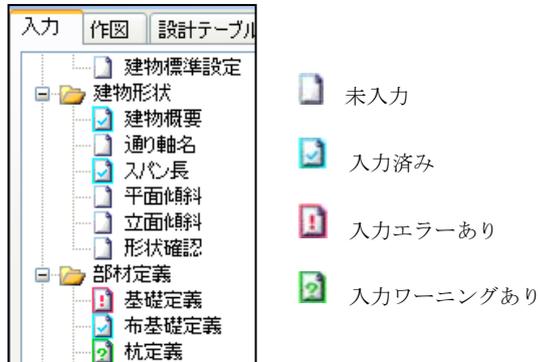


システム構成図

制限事項

(1) 入力チェック

確定ボタン押下時に入力チェックを行い、エラーがある場合はメッセージを表示します。
また、入力状況により、ツリーメニューのアイコンが変化します。



(2) 建物定義

建物制限および、建物の形状を定義するための入力項目は、以下の通りです。

- ・ X 方向スパン数 ≤ 99
- ・ Y 方向スパン数 ≤ 99
- ・ Z 方向階数 ≤ 10
- ・ 作図軸 —— 図面に作図される通り軸
- ・ 配置軸 —— 部材の配置時の基準となる通り軸。入力時は、全て配置軸が画面に表示されます。
梁と壁は、配置軸に平行に配置されます。
- ・ 通り軸名 —— 通常、X 軸名は X1, X2・・・、Y 軸名は Y1,Y2・・・、Z 軸名は Z1,Z2・・・ですが、異なるときに変更できます。
- ・ 平面傾斜 —— 平面的に傾斜のある通り軸を定義します。
- ・ 立面傾斜 —— 立面的に傾斜のある通り軸を定義します。

*セットバックには対応していません。

(3) 部材定義

下記の部材に関して定義します。必要な部材のみ定義して下さい。符号数の制限値は、下記の通りです。但し、制限値は目安であり、システムのリソースにより変更になる場合があります。

- ・ 基礎 —— 符号数 ≤ 1000
- ・ 布基礎 —— 符号数 ≤ 1000
- ・ 杭 —— 符号数 ≤ 1000
- ・ 基礎梁(片持含む) —— 符号数 ≤ 1000
- ・ 基礎小梁(片持含む) —— 符号数 ≤ 1000
- ・ 壁梁(片持含む) —— 符号数 ≤ 1000
- ・ 小梁(片持含む) —— 符号数 ≤ 1000
- ・ 壁 —— 符号数 ≤ 1000
- ・ パラペット —— 符号数 ≤ 1000
- ・ 床 —— 符号数 ≤ 1000

(4) 部材配置

伏図または軸組図を画面に表示し、部材定義で定義した部材を配置します。

《伏図上で配置可能な部材》

- ・基礎
- ・基礎梁、片持基礎梁、壁梁、片持梁
- ・任意梁（任意基礎梁、任意壁梁）※
- ・小梁、基礎小梁
- ・床
- ・壁
- ・壁開口
- ・任意壁（任意壁、任意壁開口）※
- ・雑壁
- ・バラベット

※任意梁、任意壁は、通り軸もしくは補助通り軸の交点を始点終点として、配置することができます。

《軸組上で配置可能な部材》

- ・基礎
- ・基礎梁、片持基礎梁、壁梁、片持梁
- ・壁
- ・壁開口

(5) 部材の寄り寸

部材を配置すると、全ての部材は、配置軸が部材の中央になるように配置されます。部材を正しい位置に移動させたい場合は、寄り寸を設定して下さい。

寄り寸は、配置軸を基準として寸法を入力して行います。

(6) 部材のレベル

伏図または軸組図を画面に表示し、部材レベルを入力します。

《伏図上でレベル入力可能な部材》

- ・基礎
- ・基礎梁、片持基礎梁、壁梁、片持梁
- ・小梁、基礎小梁
- ・床

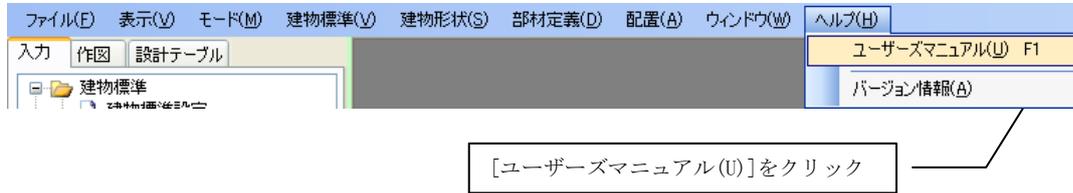
《軸組上でレベル入力可能な部材》

- ・基礎
- ・基礎梁、片持基礎梁、壁梁、片持梁

ユーザーズマニュアルの参照方法

本プログラムでは本書の他に、詳細な操作方法や設定について説明するユーザーズマニュアルを PDF ファイルで提供しています。

ユーザーズマニュアル (PDF ファイル) の参照方法は次の通りです。



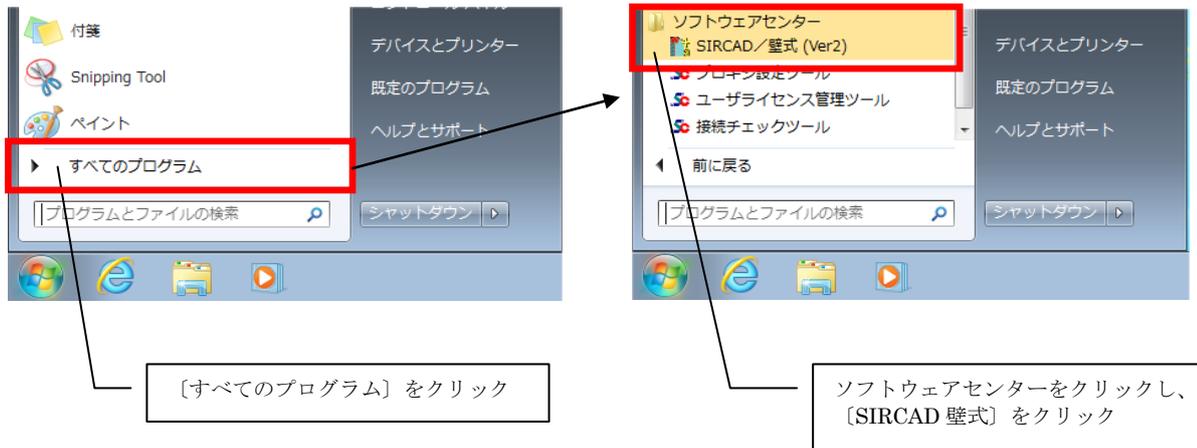
『SIRCAD／壁式』操作中では、F1 (ファンクションキー) を押すと操作している箇所についてのユーザーズマニュアル (PDF ファイル) が立ち上がります。

『SIRCAD／壁式』の基本操作

(1) 起動

アイコンをダブルクリック、または画面左隅にあるタスクバーの[スタート]  ボタンをクリックします。

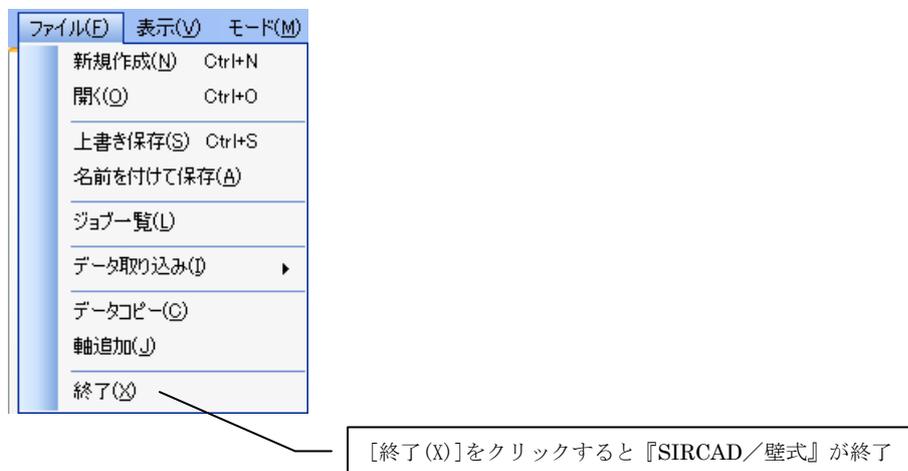
- ・スタートメニューからの起動



『SIRCAD／壁式』が起動します。

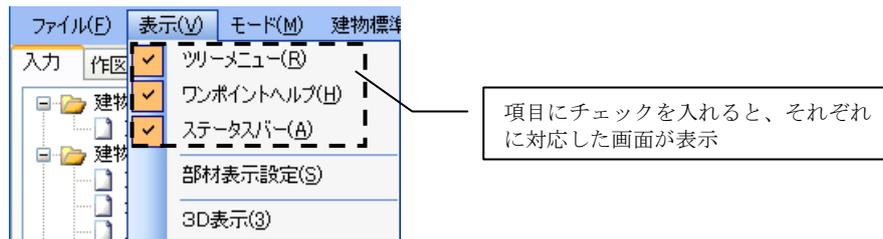
(2) 終了

メインメニューの[ファイル]－[終了]をクリックすると『SIRCAD／壁式』を終了します。



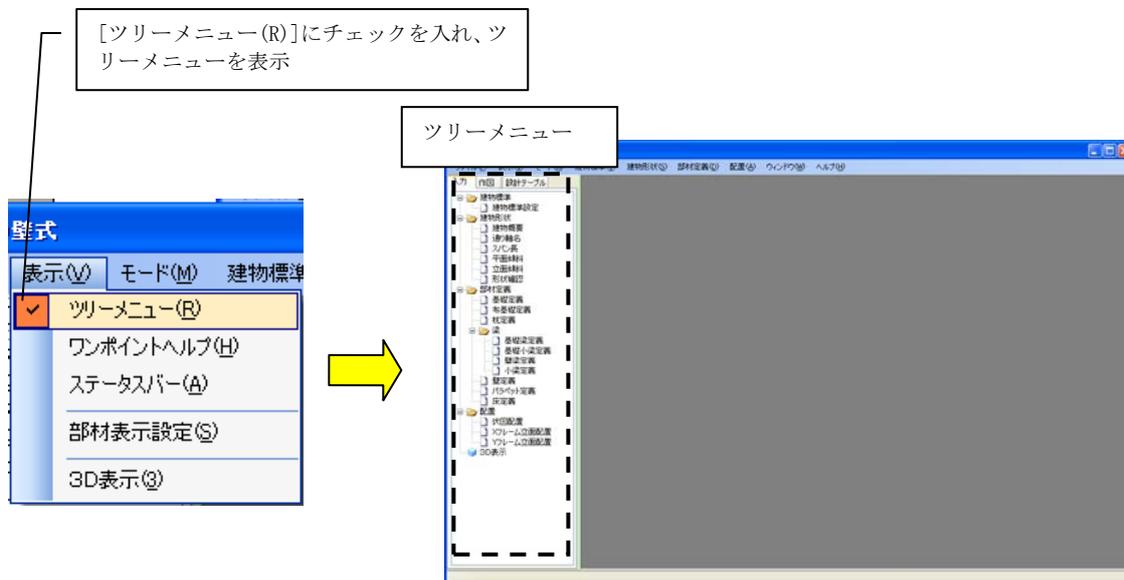
(3) 表示

メインメニューの[表示]から画面の表示/非表示を選択することができます。

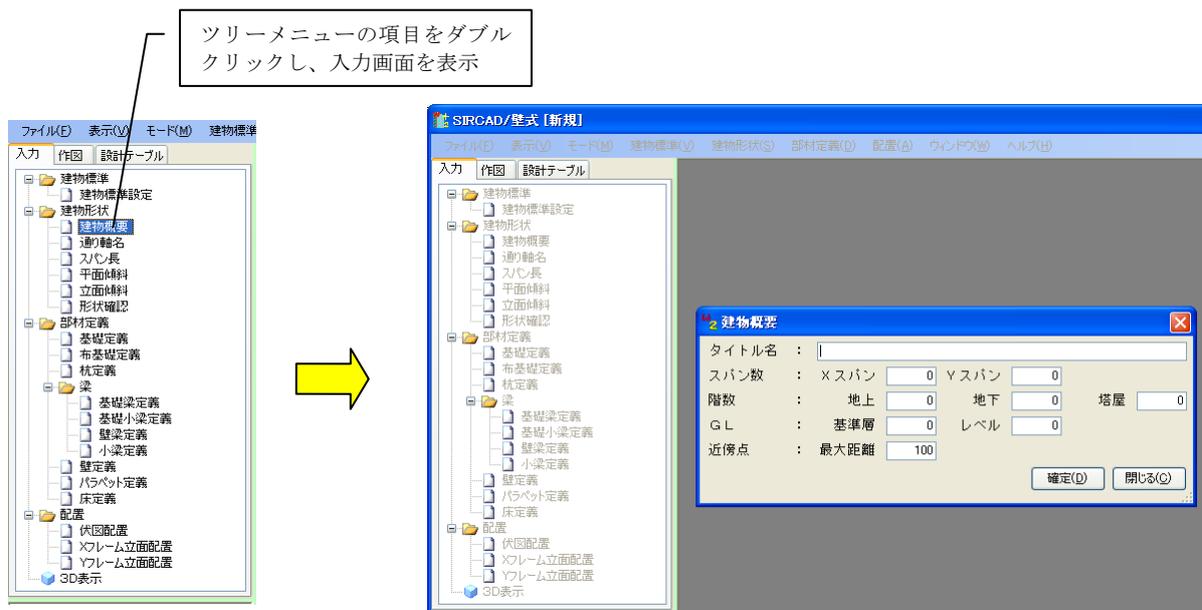


(4) 入力画面の表示

[ツリーメニュー(R)]にチェックを入れ、ツリーメニューを表示します。



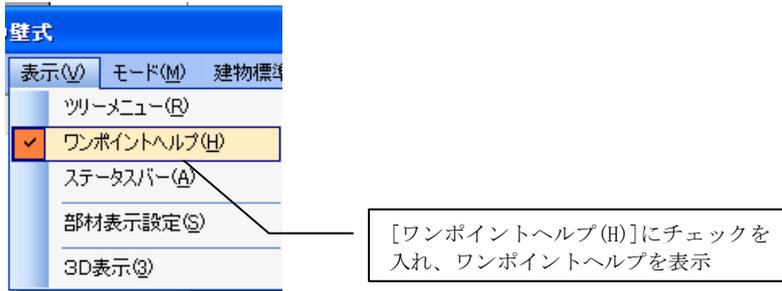
ツリーメニューの項目をダブルクリックすると、入力画面が表示されます。



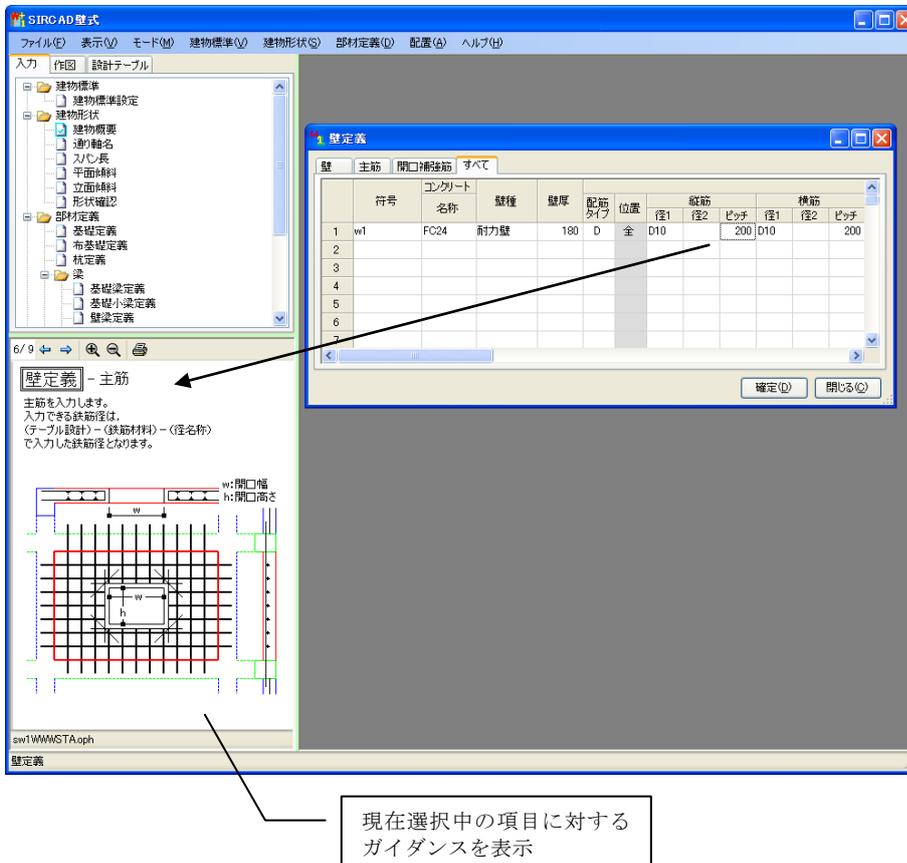
※メニュー構成はユーザーズマニュアルの『入力モード』を参照してください。

(5) ワンポイントヘルプ

[ワンポイントヘルプ(H)]にチェックを入れ、ワンポイントヘルプを表示します。

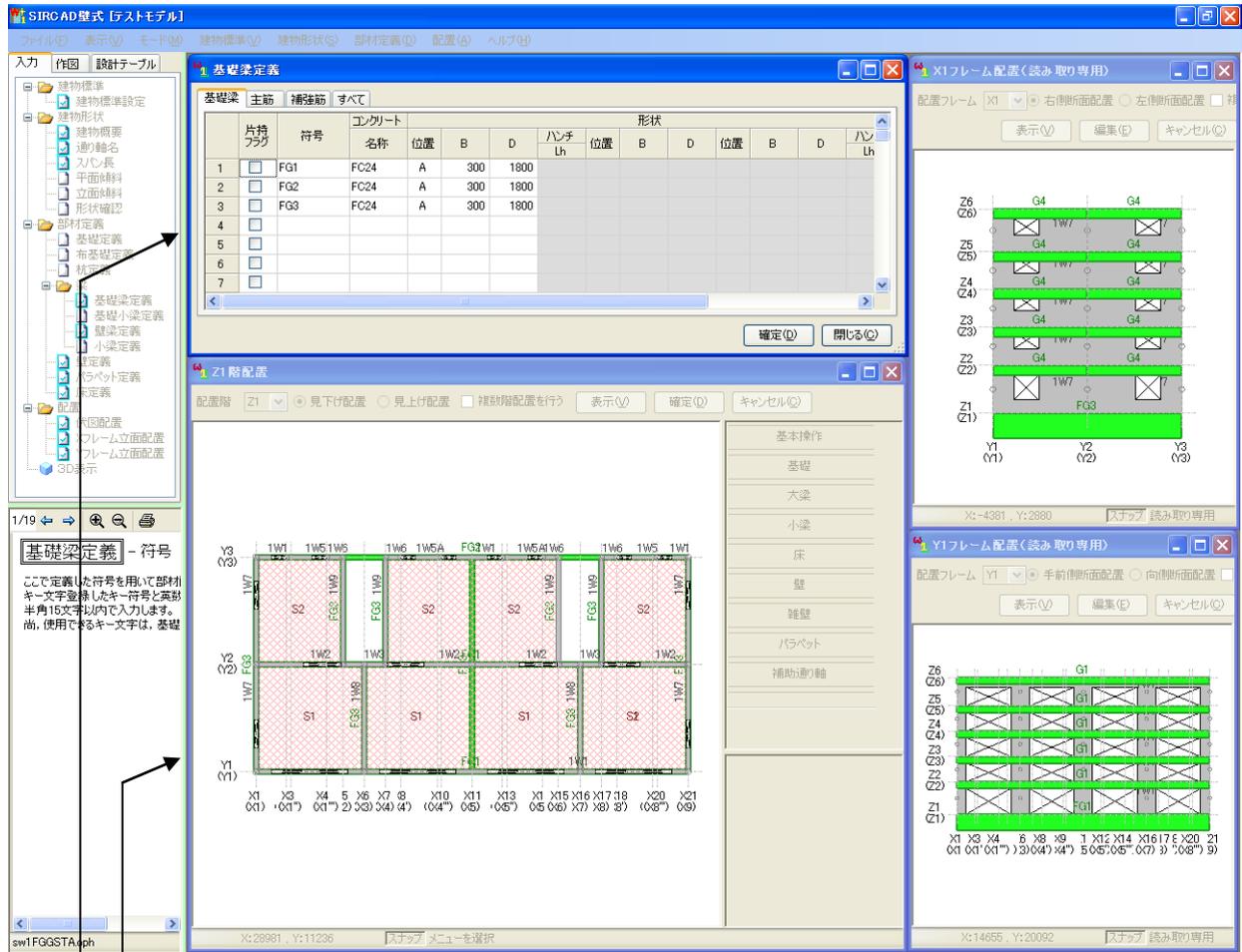


現在選択されている項目に対するガイダンスを表示することで、データ作成を補助します。



(6) マルチ画面

配置画面を表示したまま部材定義の修正、伏図配置画面を表示したまま立面配置画面での確認をすることができます。



配置画面と部材定義画面を同時に表示

伏図での配置入力内容を立面配置画面に反映

立面での配置入力内容を伏図配置画面に反映

3 構造計算データを『SIRCAD／壁式』に変換する

『SIRCAD／壁式』は、新規に建物データを入力することができますが、構造計算データを読み込んで建物データ入力の手間を省略することができます。

構造計算データを読み込むことで、モデルデータをはじめから作成する必要がなくなり、作図と設計数量算出を迅速に行うことが可能になります。

*セットバックには対応していません。

『SIRCAD／壁式』データに変換できる一貫構造計算データは以下の通りです。

(1) BUILD. 壁式V の WBD データ (株式会社構造ソフト)

BUILD. 壁式Vで作成したデータファイル『*.wbd』を使用します。

BUILD. 壁式Vでの操作：[計算] → [一連計算] を行うと、BUILD. 壁式Vのインストール先フォルダの「Linkdata」フォルダに、『.wbd』が出力されます。

出力先の例：C:\Ksoft\Wall_V\Linkdata\

(2) Super Build / WRC の SCW データ (ユニオンシステム株式会社)

WRCで作成したデータファイル『*.scw』を使用します。

WRCでの操作：[ファイル] → [エクスポート] → 任意の保存先に『.scw』を保存します。

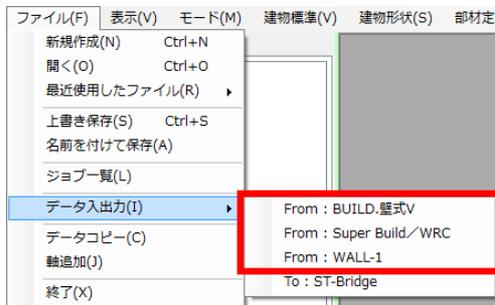
(3) WALL-1 の SCW データ (株式会社構造システム)

WALL-1で作成したデータファイル『*.w11』を使用します。

変換手順

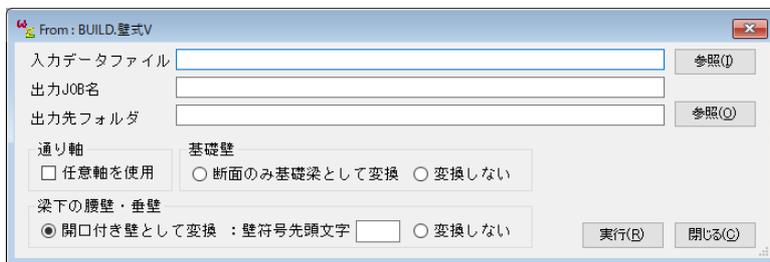
構造計算データを『SIRCAD／壁式』に変換する方法を説明します。

メインメニューの[ファイル(F)]をクリック、[データ入出力(I)]をポイントすると、購入されている変換オプションが表示されます。
[From : BUILD.壁式V]または[From : Super Build/WRC]または[From : WALL-1]をクリックします。



(1) [From : BUILD.壁式V]

[From : BUILD.壁式V]をクリックすると、以下の画面が表示されます。



入力データファイル : 変換したい“WBD ファイル”を指定します。

出力JOB名 : JOB名を指定します。

出力先フォルダ : 出力先フォルダを指定します。

[参照]ボタンをクリックすると入力データファイル、出力フォルダ名を参照できます。

通り軸 : 「任意軸を使用」

チェックを入れると、架構名が付いた壁／壁梁から通り軸を変換し、架構名の無い壁芯／壁梁芯または壁／壁梁の端点から任意軸を変換します。これに伴い、通り軸交点を端点とする壁／壁梁は、通常の壁／壁梁として変換しますが、それ以外は、任意壁／任意壁梁として変換します。チェックを入れないと、全てを通り軸として変換します。

基礎壁

: 基礎壁の変換方法を選択します。

「断面のみ基礎梁として変換」: 基礎壁を基礎梁（無筋）として変換します。

「変換しない」: 基礎壁を変換しません。

梁下の腰壁・垂壁

: 梁下の腰壁／垂壁の変換方法を選択します。

「開口付き壁として変換」: 腰壁／垂壁として変換します。

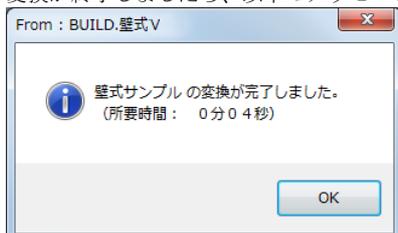
壁符号先頭文字には、変換した腰壁／垂壁の符号の先頭に付与する文字を入力します。

壁符号先頭文字の入力は、省略が可能です。

「変換しない」: 梁下の壁を変換しません。

「実行(R)」をクリックして変換を実行します。

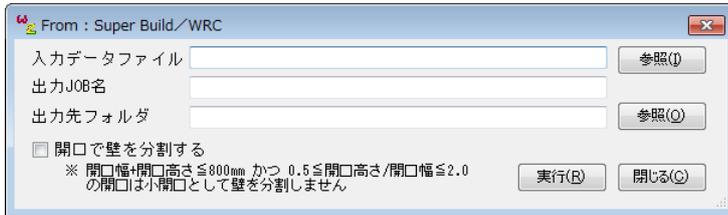
変換が終了しましたら、以下のメッセージが表示されます。



[OK]をクリックします。

(2) [From : Super Build／WRC]

[From : Super Build／WRC]をクリックすると、以下の画面が表示されます。



入力データファイル : 変換したい“SCW ファイル”を指定します。

出力JOB名 : J o b名を指定します。

出力先フォルダ : 出力先フォルダを指定します。

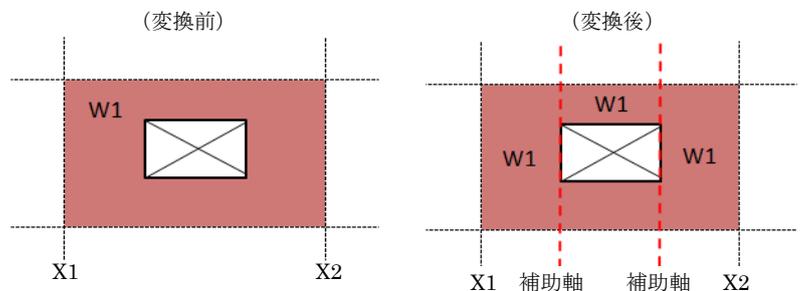
[参照]ボタンをクリックすると入力データファイル、出力フォルダ名を参照できます。

開口で壁を分割する : チェックを入れると、開口で壁を分断して任意壁として変換します。

チェックを入れないと、開口で壁を分断せず変換します。

<[開口で壁を分割する]を選択した場合>

※ 開口幅+開口高さ ≤ 800mm、
かつ、0.5 ≤ 開口高さ/開口幅 ≤ 2.0 の
開口は小開口として壁を分割しません。

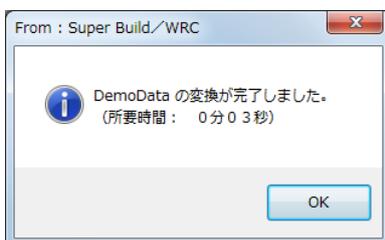


『SIRCAD／壁式』では、曲げ補強筋を軸上にはしか配置できないため、開口端部に曲げ補強筋を作図する場合には、[開口で壁を分割する]にチェックをして変換してください。

[開口で壁を分割する]ことで、開口端部に曲げ補強筋を作図できるようになります。

「実行(R)」をクリックして変換を実行します。

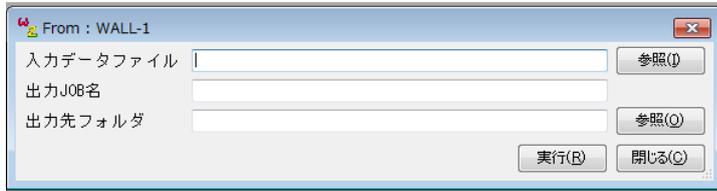
変換が終了しましたら、以下のメッセージが表示されます。



[OK]をクリックします。

(3) [From : WALL-1]

[From : WALL-1]をクリックすると、以下の画面が表示されます。



入力データファイル : 変換したい“w11 ファイル”を指定します。

出力JOB名 : JOB名を指定します。

出力先フォルダ : 出力先フォルダを指定します。

[参照]ボタンをクリックすると入力データファイル、出力フォルダ名を参照できます。

「実行(R)」をクリックして変換を実行します。

変換が終了しましたら、以下のメッセージが表示されます。



[OK]をクリックします。

4 3D表示で視覚的に建物データを確認する

『SIRCAD/壁式』の3次元表示機能について説明します。

『SIRCAD/壁式』データを SCViewer (または VRML) ファイルに出力し、3次元表示で視覚的に建物データを確認することができます。

3D表示機能は作図機能とは別の機能です。作図を行う場合は、作図の項目に進んでください。

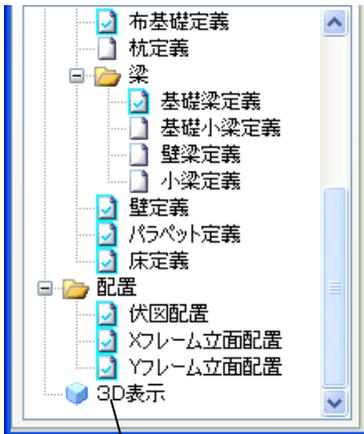
3D表示を利用するためには、SCViewerをインストールしている必要があります。SCViewerはCDからインストールできます。

また、VRMLビューアを使用する場合は、Cosmo Player 2.1, Cortona3D Viewer等のフリーソフトをインストールしてご利用ください。

3D表示でVRMLファイルに変換する

ツリーメニューの[3D表示]をダブルクリックします。

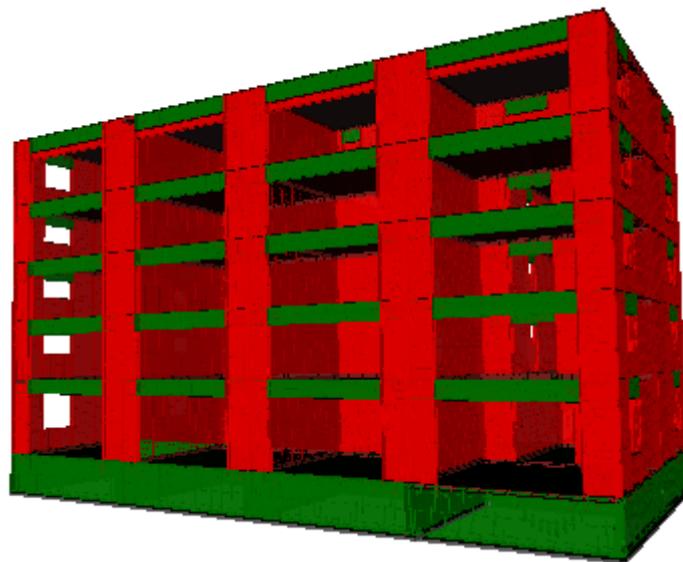
[表示(V)]をクリックします。



ツリーメニューの[3D表示]をダブルクリック



[表示(V)]をクリック



3次元表示で建物データを確認することができます。

5 定義と配置を追加する

構造計算データにない基礎や小梁の鉄筋など、作図・設計数量算出に必要なデータを定義と配置に追加します。

ここでは壁定義の追加・配置をする方法を説明します。

配置の基本操作

配置範囲指定の基本的操作について説明します。

《配置範囲指定の方法》

部材の具体的な配置方法を、基礎などの点部材、梁などの線部材、床組などの面部材、雑壁などの特殊部材に分けて説明します。範囲指定は、始点、終点で2回クリックします。範囲指定しない場合は、同じ場所を2回クリックして下さい。

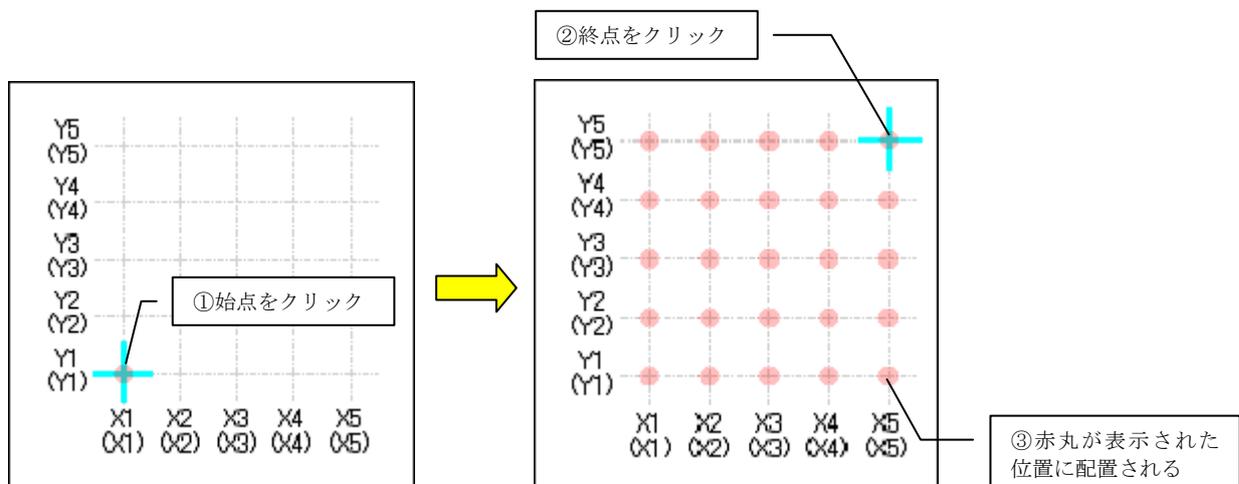
(1) 点部材

以下の場合に用いられます。

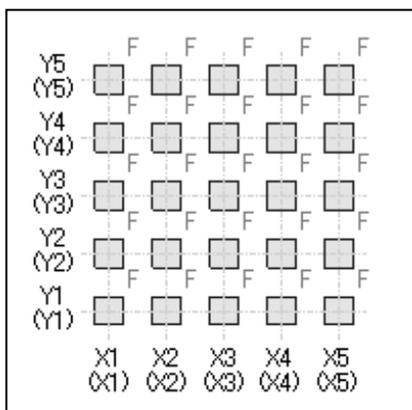
- ・基礎
- ・伏図配置時のコーナー曲げ補強筋

《範囲配置方法》

配置する範囲を始点、終点とクリックします。



通り軸交点を始点、終点とマウスでクリックすると、始点、終点で囲まれた矩形の範囲に部材が配置されます。(下図参照)



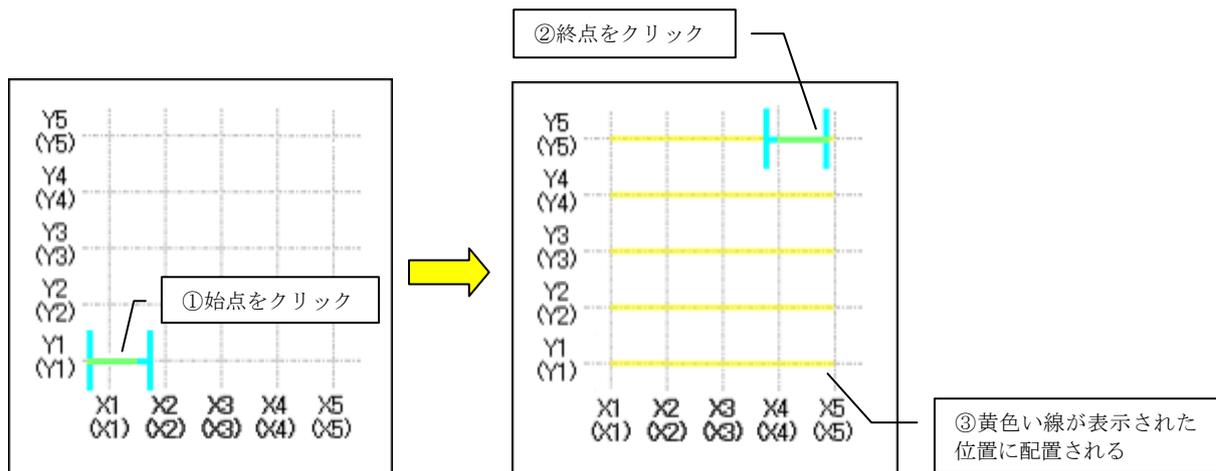
(2) 線部材

以下の場合に用いられます。

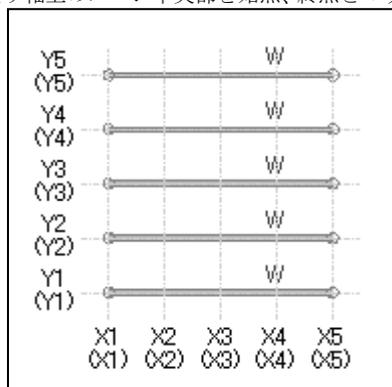
- ・基礎梁（布基礎）
- ・壁梁
- ・伏図配置時の壁
- ・立面配置時のコーナー曲げ補強筋

≪範囲配置方法≫

配置する範囲を始点、終点とクリックします。



通り軸上のスパン中央部を始点、終点とマウスでクリックすると始点、終点で囲まれた矩形の範囲に部材が配置されます。(下図参照)



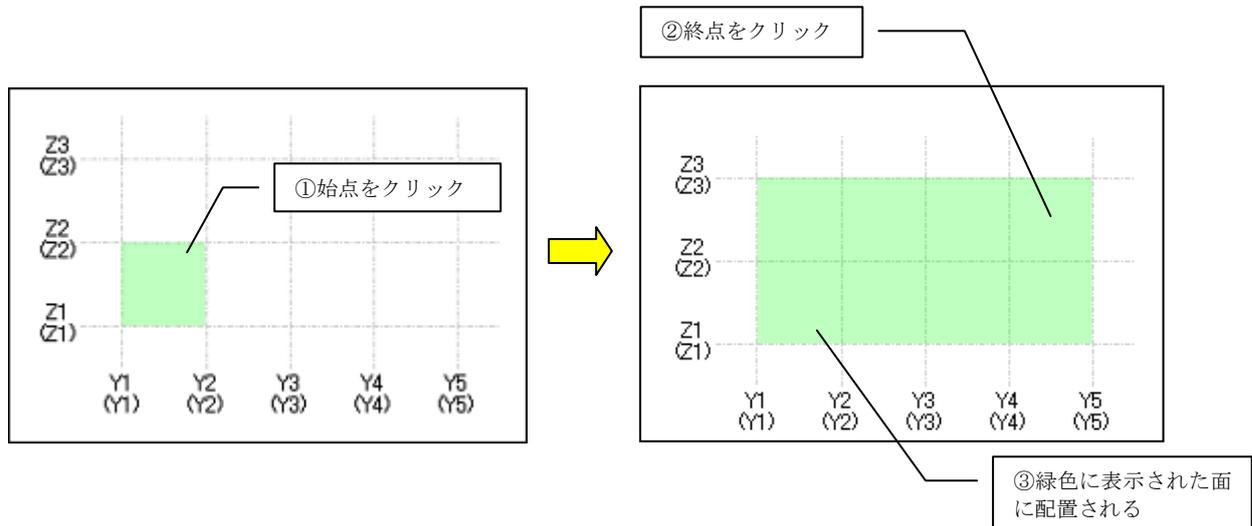
(3) 面部材

以下の場合に用いられます。

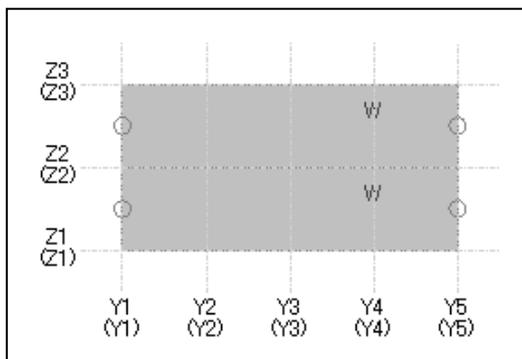
- ・立面配置時の壁
- ・面指定時の床

〈範囲配置方法〉

配置する範囲を始点、終点とクリックします。



各スパン中央部を始点、終点とマウスでクリックすると、始点、終点で囲まれた矩形の範囲に部材が配置されます。(下図参照)



(4) 特殊な部材

以下の場合に用いられます。

- ・雑壁、小梁、パラペット
始点、終点の配置するXY通り軸名、その交点からの座標を入力します。
- ・頂点指定時の床
各頂点のXY通り軸名、その交点からの座標を入力します。

壁定義を追加する

壁定義を追加する方法について説明します。

①入力タブをクリック

②[壁定義]をダブルクリック

入力画面表示

③入力するセルにカーソルを合わせる

④[ワンポイントヘルプ]を参照しながら入力

No.	符号	コンクリート 名称	壁種	壁厚	配筋 タイプ	位置	縦筋			横筋		
							径1	径2	ピッチ	径1	径2	ピッチ
1	W	FC24	耐力壁	180	D	全	D10		200	D10		200
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

壁定義 - 主筋
主筋を入力します。
入力できる鉄筋径は、
(テーブル設計) - (鉄筋材料) - (径名称)
で入力した鉄筋径となります。

w: 開口幅
h: 開口高さ

sw1WWMSTR.lph

スタート SIRCAD壁式 [定義済] 壁式スタートアップガイ... C:\Documents and S... 画像2.xls Book1.xls A般 14:47

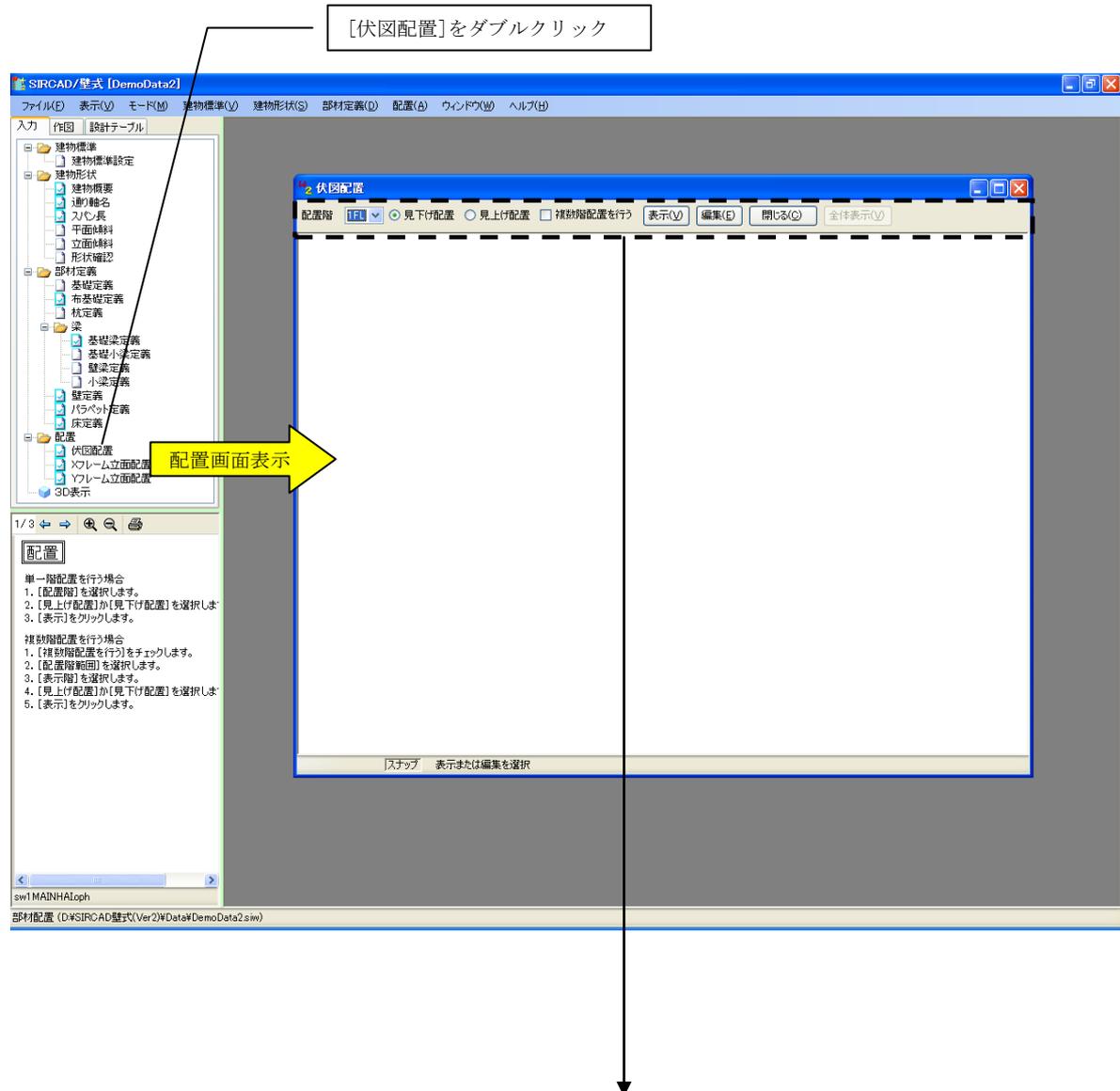
定義を追加し終わったら、[確定]ボタンをクリックし画面を閉じます。

壁を配置する

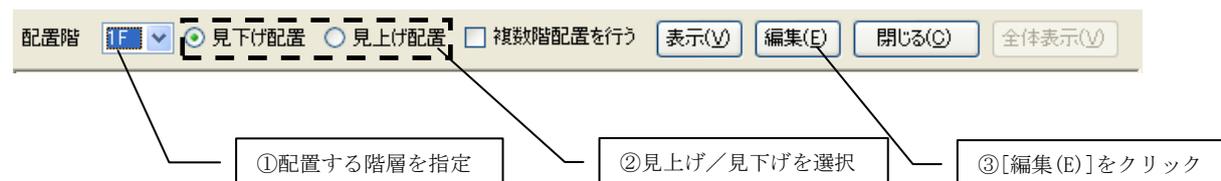
追加した壁を配置する方法を説明します。

配置画面で壁を配置していきます。

ここでは伏図配置で配置する方法を説明します。



配置する階、見上げ／見下げを指定し、[編集(E)]をクリックします。



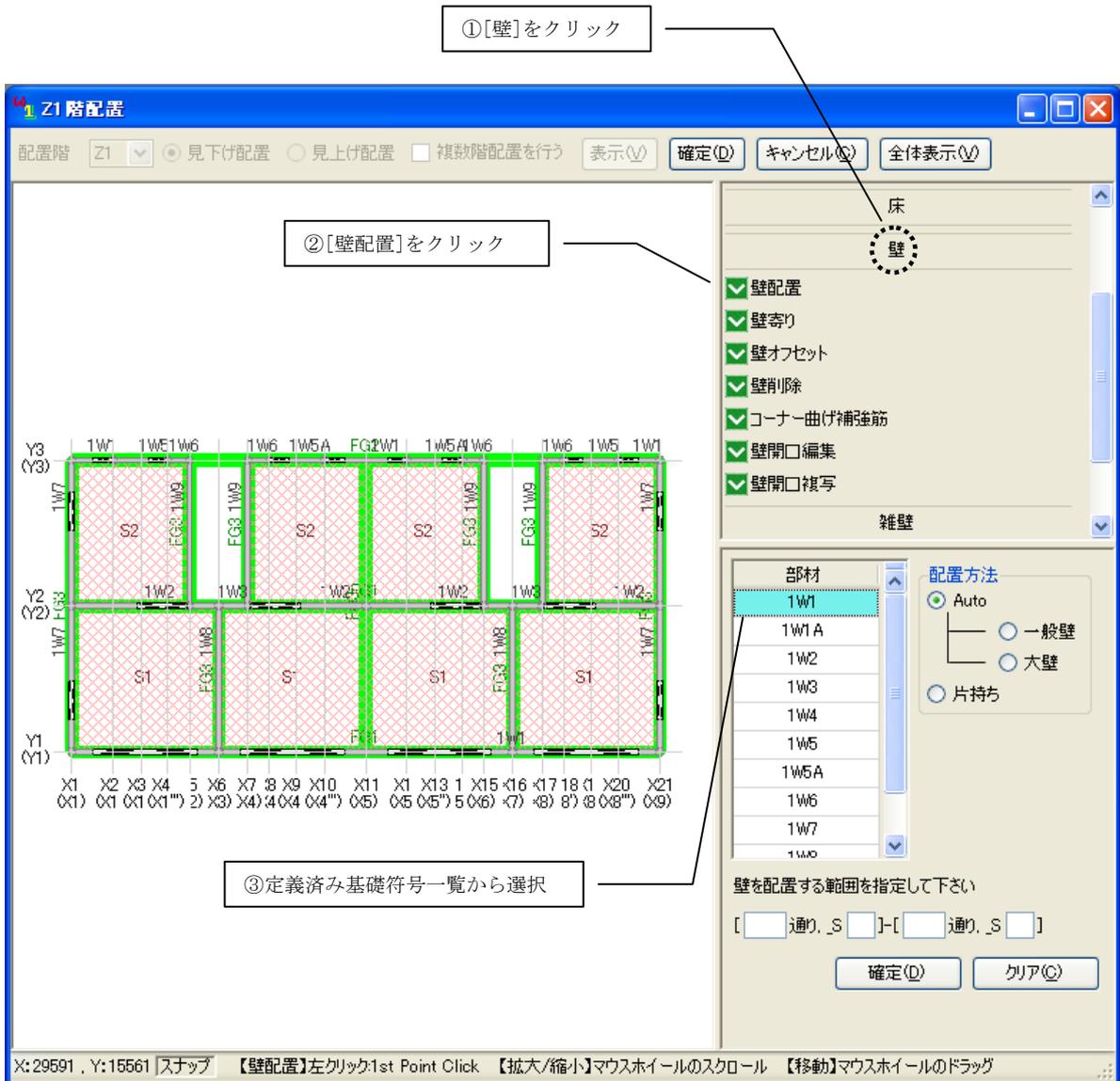
①配置する階層を指定

②見上げ／見下げを選択

③[編集(E)]をクリック

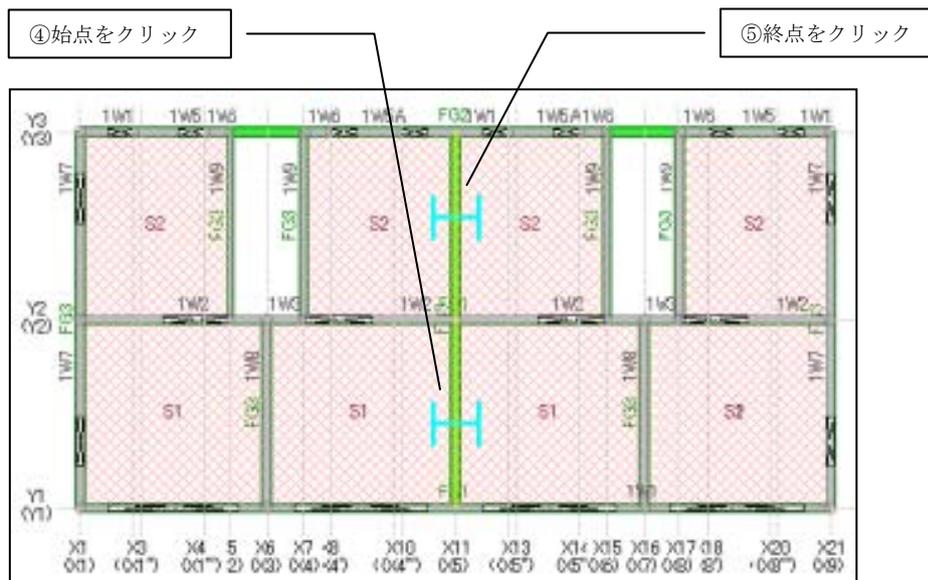
5 定義と配置を追加する

メニューパレットの[壁]―[壁配置]とクリックし、定義済み基礎符号一覧から配置する部材を選択します。

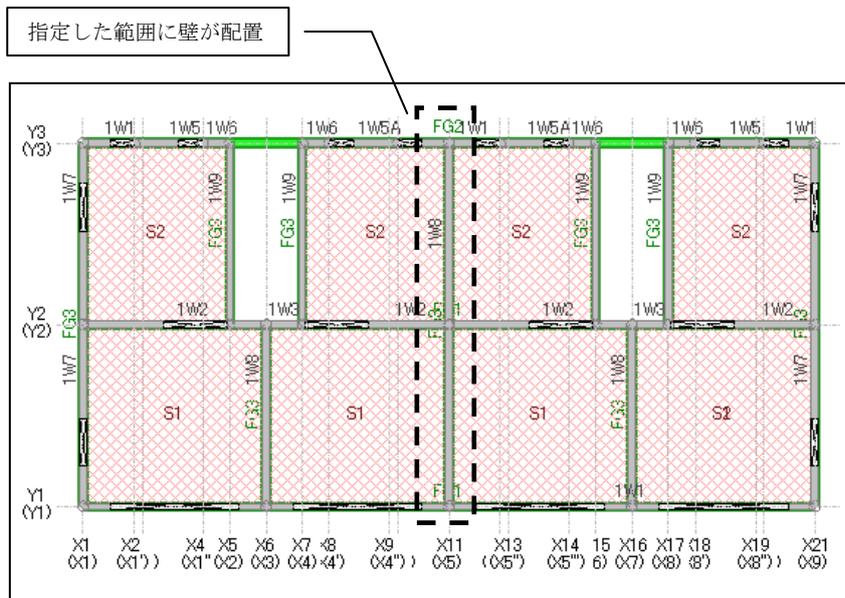


*画面の移動：マウスホイールのドラッグで画面を移動することができます。
 倍率の変更：マウスホイールのスクロールで画面を拡大／縮小することができます。

マウス指定の例：壁を配置する通り軸上をマウスでクリックします。（範囲指定しない場合は同じ場所を2回クリックします。）



以下のように壁が配置されます。



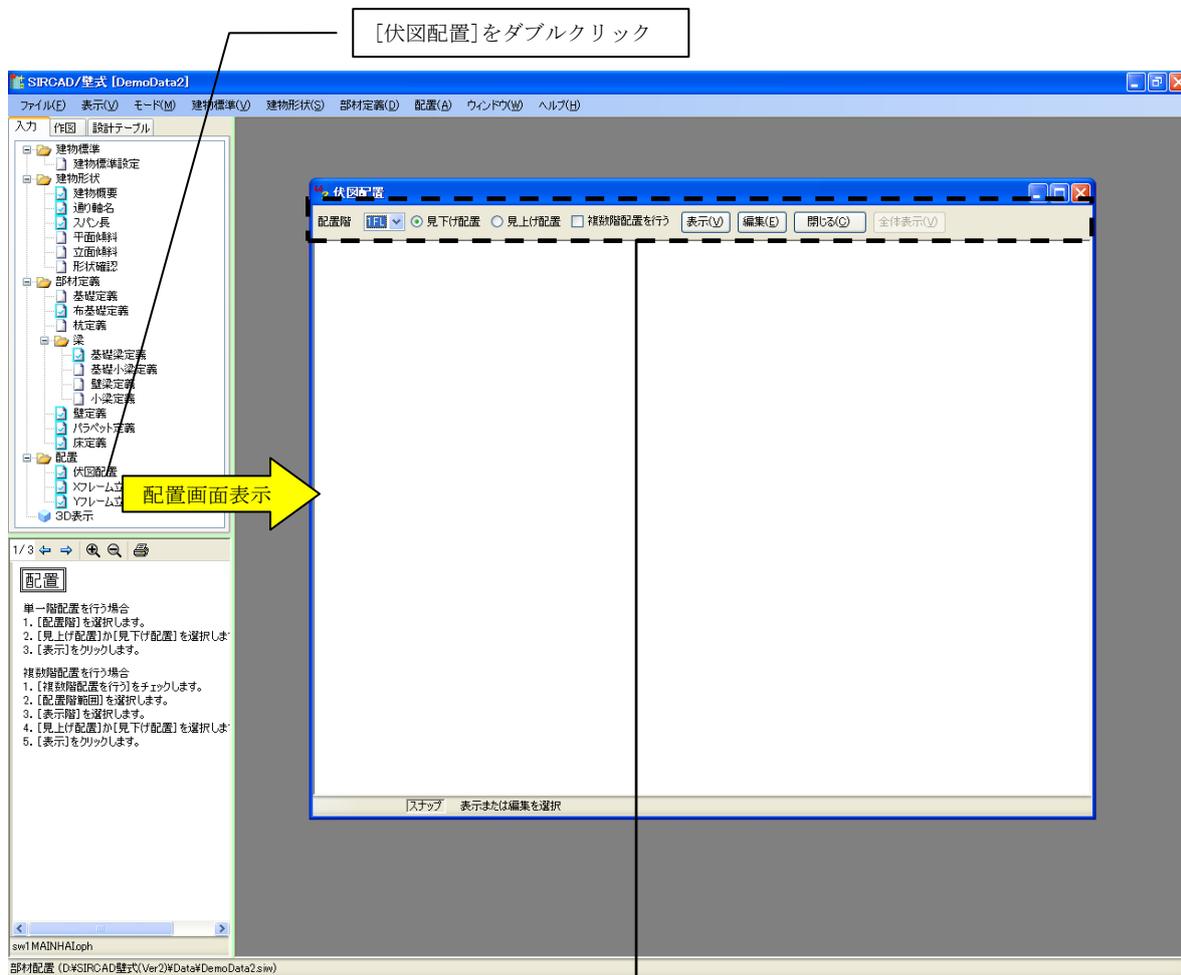
6 配置データを編集する

必要に応じて配置の修正を行います。

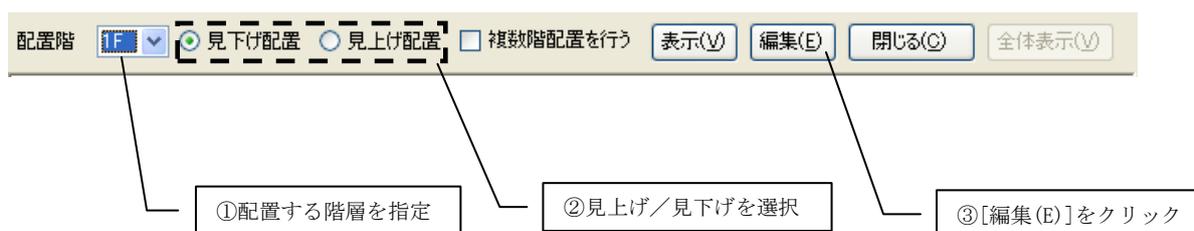
壁の寄りを設定する

壁の寄り設定について説明します。

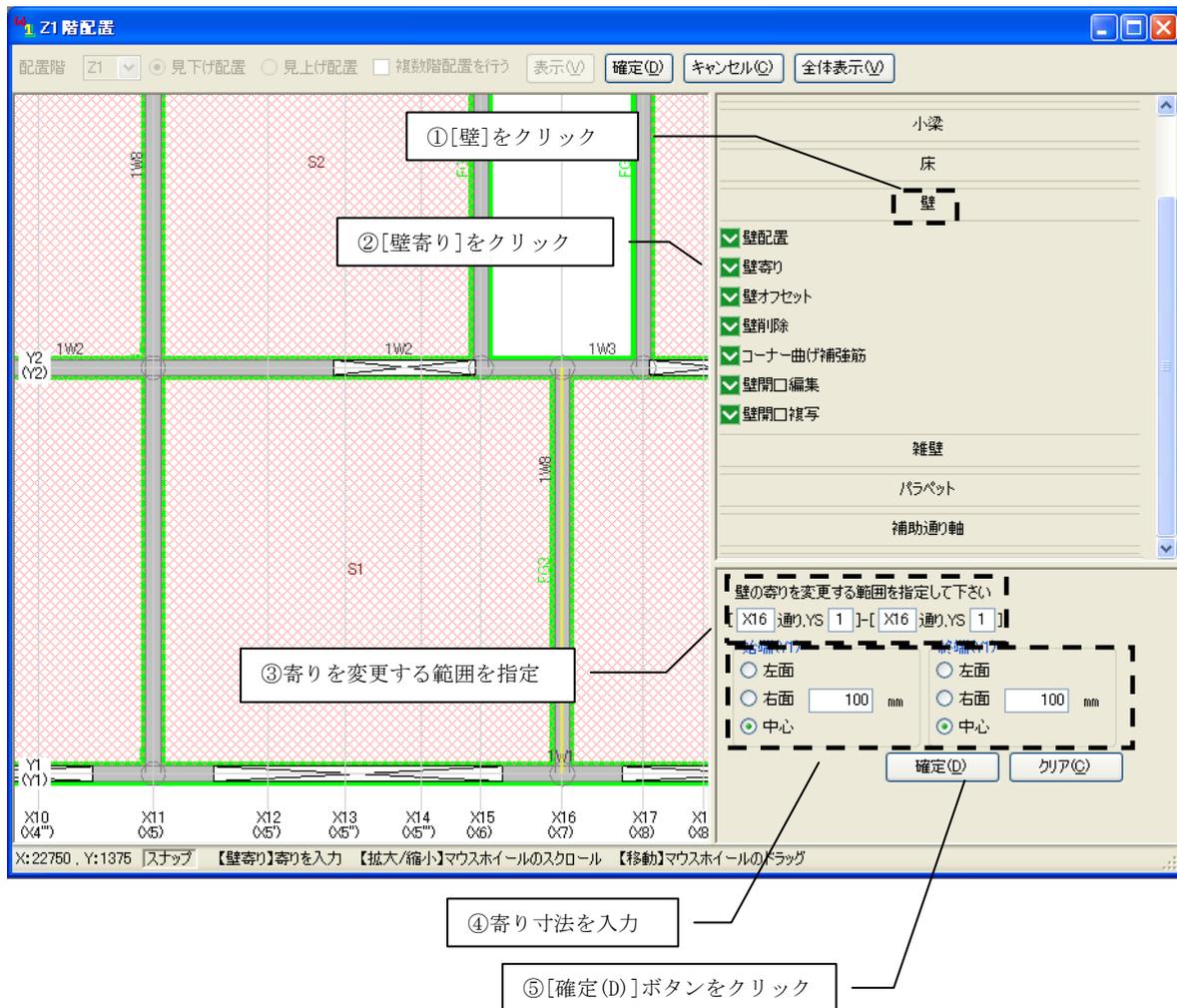
ここでは伏図配置で寄りを変更する方法について説明します。



配置する階、見上げ/見下げを指定し、[編集(E)]をクリックします。



メニューパレットの[壁]—[壁寄り]とクリックします。
寄りを変更する範囲を指定し、寄り寸法を入力します。

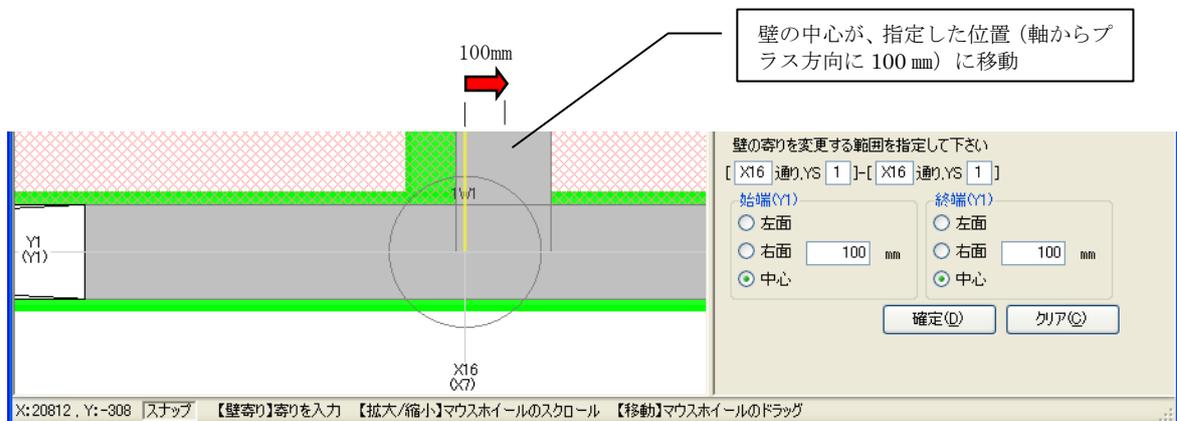


[確定(D)]ボタンをクリックすると、壁の寄りが変更されます。

《寄りの指定方法》

- 左面
- 右面 指定した寄り寸法に、壁のどの位置を合わせるかを指定できます。
- 中心

例：中心にチェックを入れ寄り寸法を 100 mm に設定した場合、以下のように寄りが変更されます。



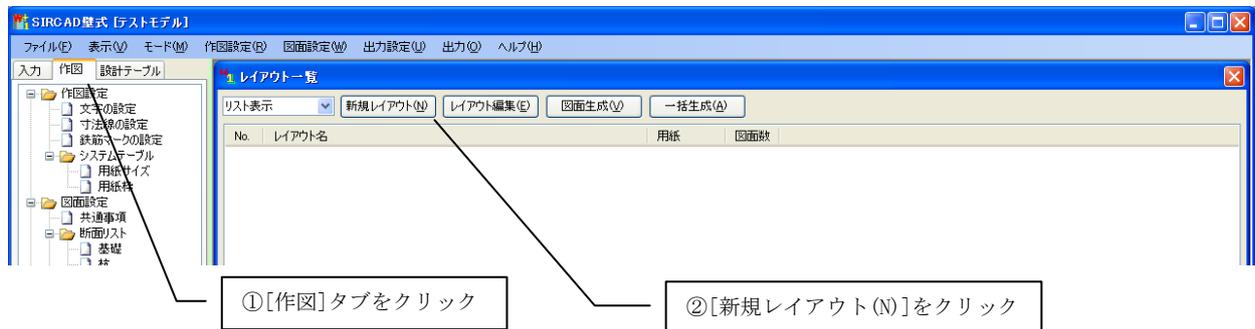
7 図面を作成する

『SIRCAD/壁式』で作成できる図面は以下の通りです。1枚の用紙に自由な組み合わせで図面をレイアウトできます。

伏図	軸組図	断面リスト	文字リスト
基礎伏図 一般階伏 杭伏図 配筋伏図	軸組図 配筋軸組図	基礎 杭 基礎梁 基礎小梁 壁梁 小梁 壁 曲げ補強筋 パラペット	床 杭 杭集計表

基礎梁リストを作図する

作図モードを選択し、新規レイアウトを作成します。

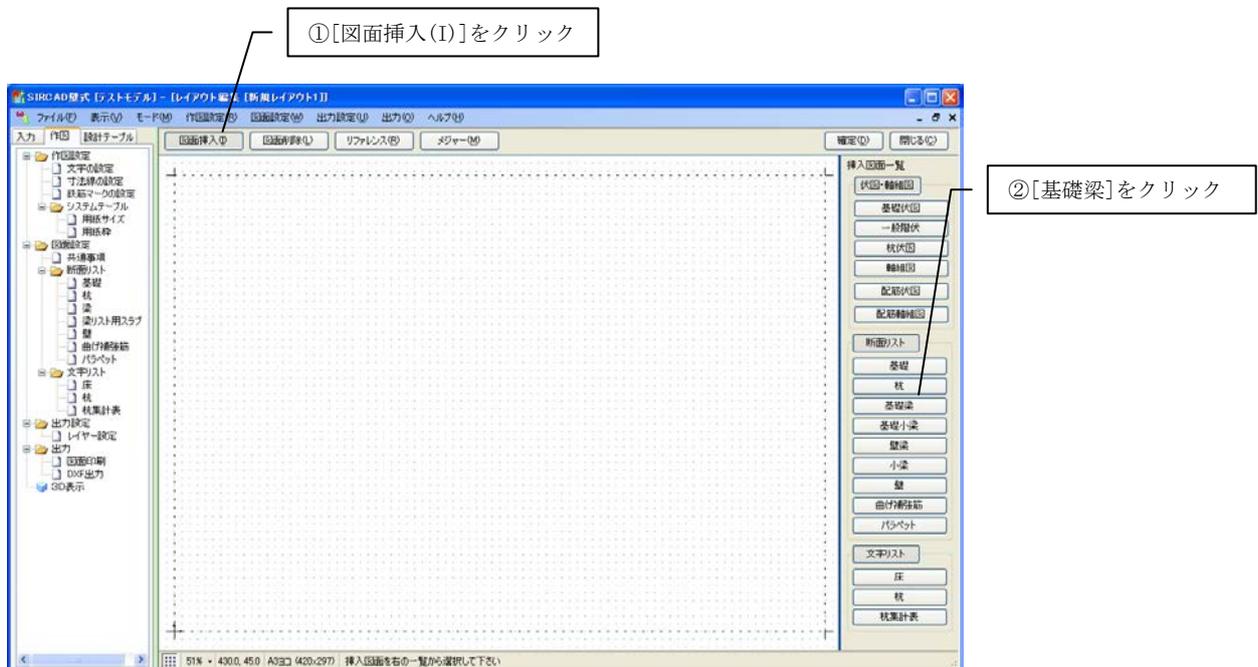


用紙サイズ等を設定し、[確定(D)]ボタンをクリックします。



用紙サイズ等を設定し、
[確定(D)]ボタンを
クリック

[図面挿入(I)]をクリックし、メニューパレットから[基礎梁]を選択します。



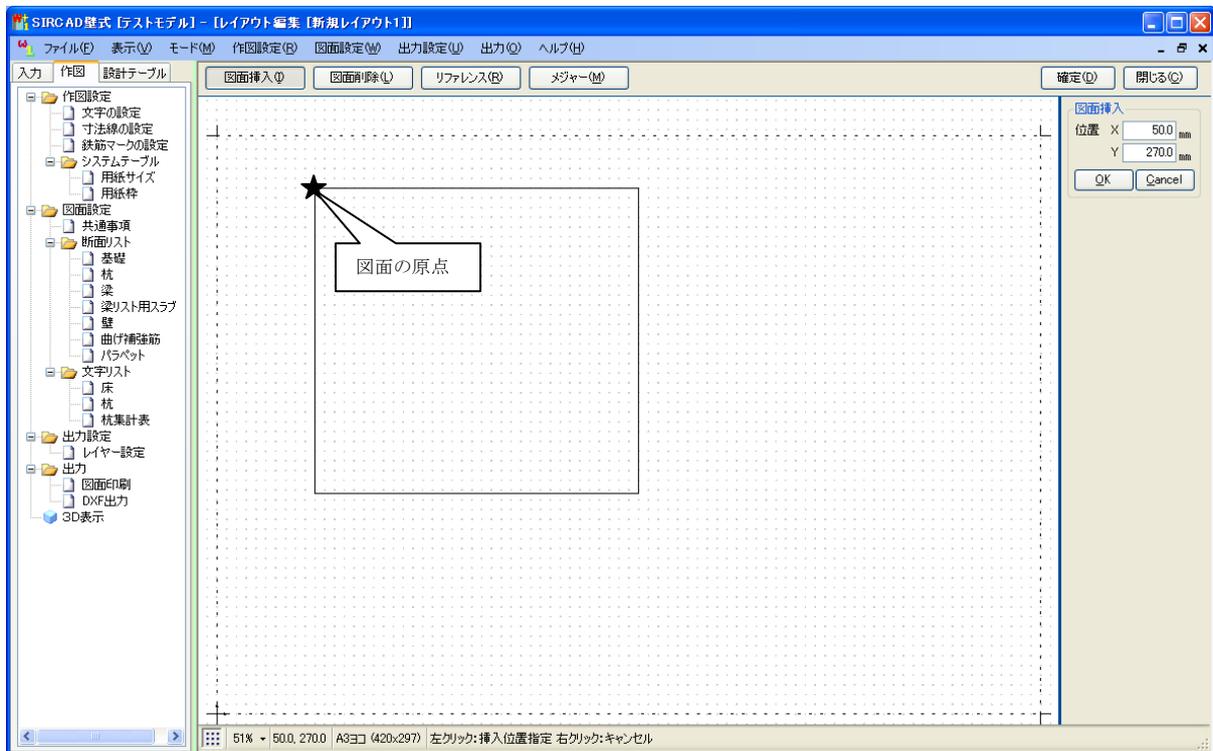
7 図面を作成する

出力範囲、縮尺等を設定し、[確定(D)]ボタンをクリックします。

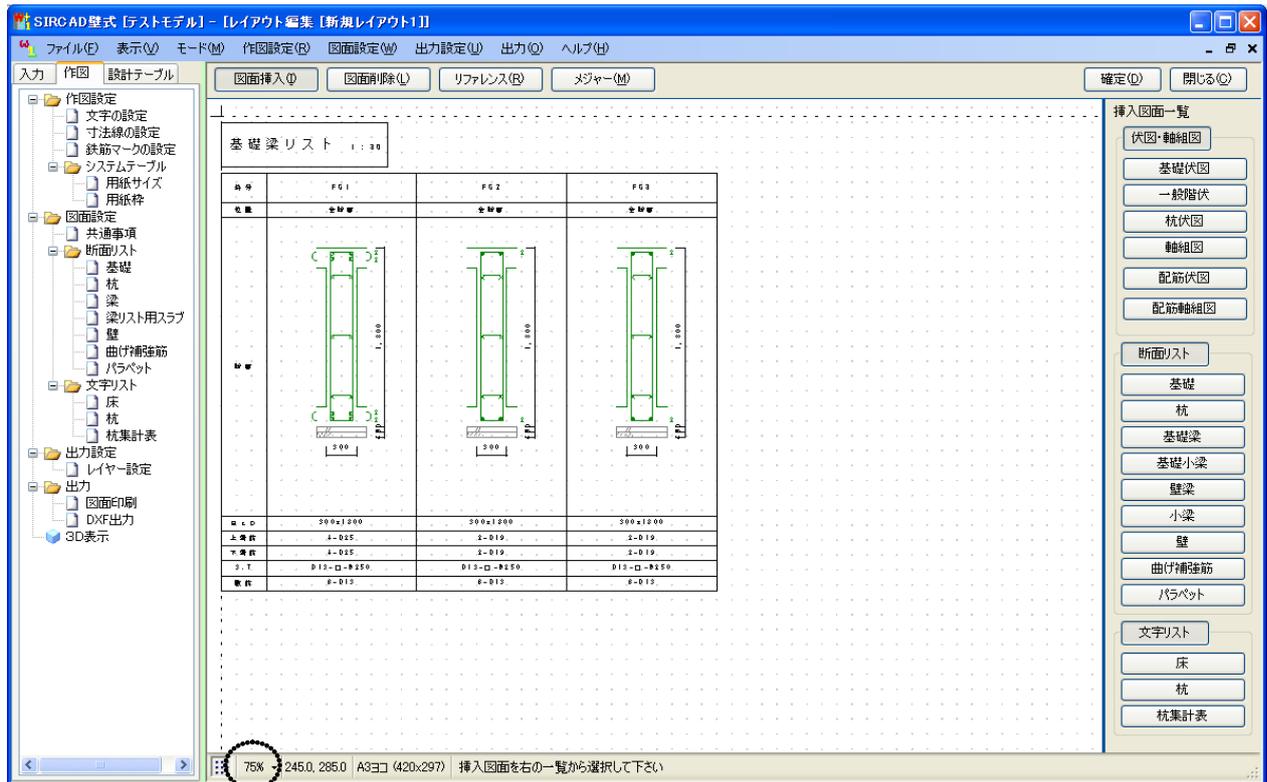


出力範囲、縮尺等を設定し、
[確定(D)]をクリック

図面挿入位置をキーボードから入力または、マウスで指定します。
断面リストの場合、図面左上が図面の原点になっています。マウスが押さえている点が原点です。
マウスで指定する場合は、用紙の適当な位置でクリックします。



以下のように基礎梁断面リストが作図されます。

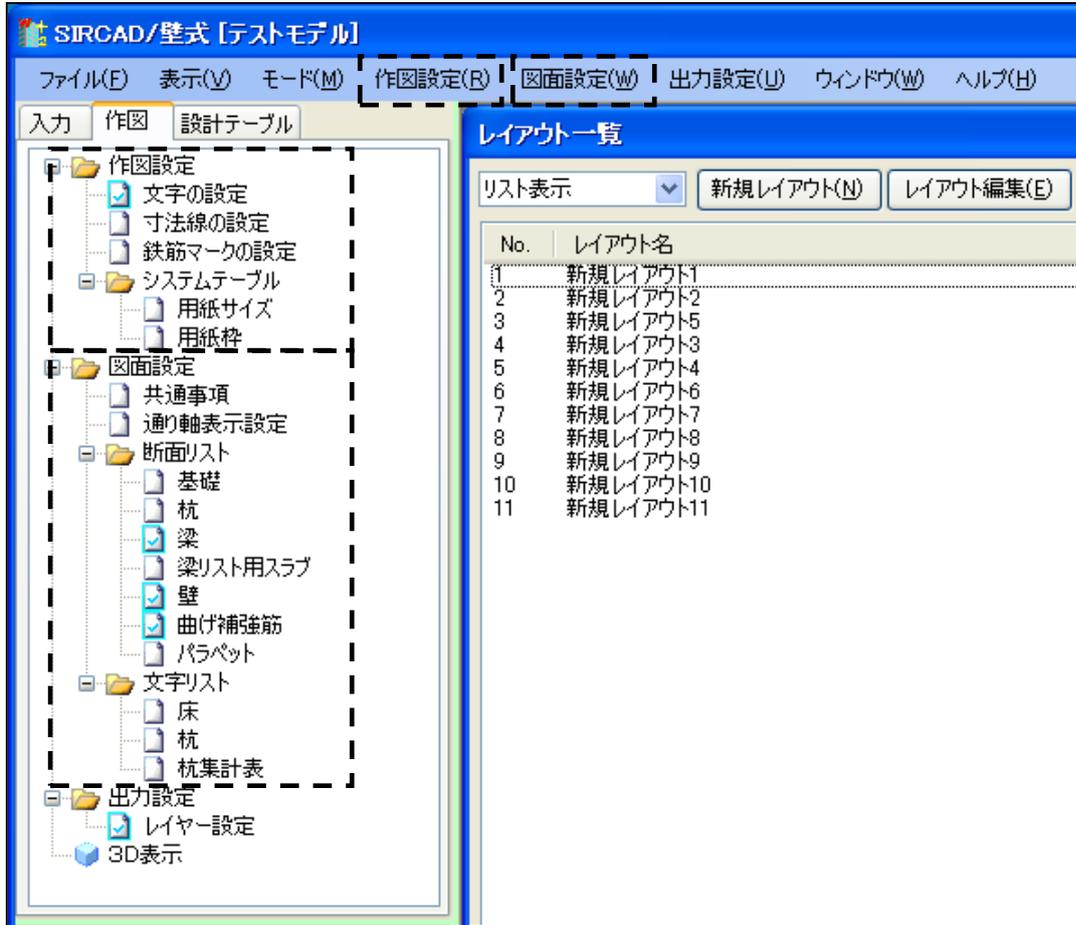


表示倍率を指定

*画面の移動：マウスホイールのドラッグで画面を移動することができます。
 倍率の変更：マウスホイールのスクロールまたは、画面左下をクリックし
 倍率を指定することで画面を拡大／縮小することができます。

作図設定の変更方法

図面をカスタマイズするには、ツリーメニュー又はメインメニューの作図設定／図面設定にて設定をします。各種設定を変更した後、[確定(D)]ボタンをクリックすると、変更内容が図面に反映されます。



* 作図設定・出力条件の設定はシステムデフォルト値として保存できます。

例：[図面設定]→[共通事項]



カスタマイズした設定値は、システムデフォルト値として保存できます。
システムデフォルト値として保存した設定は、他のJOBで作図を行う時にも有効になります。

変更の手順

例を挙げて説明します。

基礎梁リスト 1:30				
符号	FG1	FG2	FG3	
位置	全断面			
断面				
	B × D	300 × 1800	300 × 1800	300 × 1800
	上筋筋	4-D25	2-D19	2-D19
	下筋筋	4-D25	2-D19	2-D19
	S.T.	D13-□-@250	D13-□-@250	D13-□-@250
腹筋	6-D13	6-D13	6-D13	

ここでは以下の変更をします。

- ① 筋筋リスト表記形式の変更: 「D** - □ - @***」 → 「n-D** - @***」に変更
- ② 筋筋の表記名を変更: 「S.T」 → 「筋筋」に変更
- ③ 断面欄の枠高さを変更: 「100 mm」 → 「90 mm」に変更
- ④ B寸法の位置を変更: 「下側」 → 「上側」に変更
- ⑤ 鉄筋マークを変更

この他にも文字サイズ、フォントの設定、寸法アキなど様々な変更ができます。

7 図面を作成する

① 肋筋リスト表記形式の変更: 「D**ー□ー@***」 → 「n-D**ー@***」に変更

[図面設定]→[断面リスト]→[梁]を選択すると以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the SIRCAD software interface with the '図面設定 - 梁断面リスト <全レイアウト共通>' dialog box open. The '肋筋リスト表記形式' field is highlighted with a callout box containing the text '②プルダウンリストから「n-D**ー@***」を選択'.

The dialog box contains the following settings:

図面挿入初期値	図面タイトル	基礎梁	基礎梁リスト
		基礎小梁	基礎小梁リスト
		壁梁	壁梁リスト
		小梁	小梁リスト
図面縮尺		1 / 30	
断面詳細	付加作図	<input checked="" type="checkbox"/> 中吊筋	<input checked="" type="checkbox"/> 幅止筋
		<input checked="" type="checkbox"/> 布基礎(基礎梁)	
スラブの出		100 mm	地業の出 100 mm
枠サイズ	符号欄枠高さ	10 mm	
	位置欄枠高さ	5 mm	
	断面欄枠高さ	100 mm	
	文字枠高さ	5 mm	
	階欄枠幅	15 mm	
	項目欄枠幅	15 mm	
	断面枠幅	50 mm	
リスト表現	階欄文字	階	
	符号欄文字	符 号	
	位置欄文字	位 置	
	断面欄文字	断 面	
	BxD欄文字	BxD	
	上端筋欄文字	上端筋	
	下端筋欄文字	下端筋	
	肋筋欄文字	S.T	
	腹筋欄文字	腹 筋	
	位置名	全断面(A)	全断面
中央名(C)		中央	両端名(E) 両端
外端名(O)		外端	内端名(I) 内端
左端名(L)		左端	右端名(R) 右端
梁断面位置合わせ	SL合わせ		
基礎梁断面位置合わせ	SL合わせ		
肋筋リスト表記形式	D**ー□ー@***		

Buttons at the bottom: 初期化(Q), システム登録(S), 確定(D), 閉じる(C)

[肋筋リスト表記形式]をクリックし、プルダウンリストから「n-D**ー@***」を選択します。

②肋筋の表記名を変更：「S.T」→「肋筋」に変更

1 図面設定 - 梁断面リスト <全レイアウト共通>

枠・断面 寸法

図面挿入 初期値	図面タイトル	基礎梁	基礎梁リスト		
		基礎小梁	基礎小梁リスト		
		壁梁	壁梁リスト		
		小梁	小梁リスト		
図面縮尺		1 / 30			
断面詳細	付加作図	<input checked="" type="checkbox"/> 中吊筋	<input checked="" type="checkbox"/> 幅止筋	<input checked="" type="checkbox"/> 布基礎(基礎梁)	
		スラブの出	100 mm	地業の出	100 mm
枠 サイズ	符号欄枠高さ	10 mm			
	位置欄枠高さ	5 mm			
	断面欄枠高さ	100 mm			
	文字枠高さ	5 mm			
	階欄枠幅	15 mm			
	項目欄枠幅	15 mm			
	断面枠幅	50 mm			
リスト 表現	階欄文字	階			
	符号欄文字	符 号			
	位置欄文字	位 置			
	断面欄文字	断 面			
	BxD欄文字	BxD			
	上端筋欄文字	上端筋			
	下端筋欄文字	下端筋			
	肋筋欄文字	S.T			
	腹筋欄文字	腹 筋			
	位置名	全断面名(A)	全断面		
		中央名(C)	中央	両端名(E)	両端
		外端名(O)	外端	内端名(I)	内端
		左端名(L)	左端	右端名(R)	右端
	梁断面位置合わせ	SL合わせ			
基礎梁断面位置合わせ	SL合わせ				
肋筋リスト表記形式	n-D**-@***				

初期化(F) システム登録(S) 確定(D) 閉じる(C)

[肋筋欄文字]を「肋筋」に変更

[肋筋欄文字]を「肋筋」に変更します。

③断面欄の枠高さを変更：「100 mm」→「90 mm」に変更

1 図面設定 - 梁断面リスト <全レイアウト共通>

枠・断面 寸法

図面挿入 初期値	図面タイトル	基礎梁	基礎梁リスト		
		基礎小梁	基礎小梁リスト		
		壁梁	壁梁リスト		
		小梁	小梁リスト		
図面縮尺		1 / 30			
断面詳細	付加作図	<input checked="" type="checkbox"/> 中吊筋	<input checked="" type="checkbox"/> 幅止筋	<input checked="" type="checkbox"/> 布基礎(基礎梁)	
		スラブの出	100 mm	地業の出	100 mm
枠 サイズ	符号欄枠高さ	10 mm			
	位置欄枠高さ	5 mm			
	断面欄枠高さ	100 mm			
	文字枠高さ	5 mm			
	階欄枠幅	15 mm			
	項目欄枠幅	15 mm			
	断面枠幅	50 mm			
リスト 表現	階欄文字	階			
	符号欄文字	符 号			
	位置欄文字	位 置			
	断面欄文字	断 面			
	BxD欄文字	BxD			
	上端筋欄文字	上端筋			
	下端筋欄文字	下端筋			
	肋筋欄文字	肋筋			
	腹筋欄文字	腹筋			
	位置名	全断面名(A)	全断面		
		中央名(C)	中央	両端名(E)	両端
		外端名(O)	外端	内端名(I)	内端
		左端名(L)	左端	右端名(R)	右端
梁断面位置合わせ	SL合わせ				
基礎梁断面位置合わせ	SL合わせ				
肋筋リスト表記形式	n-D**-@***				

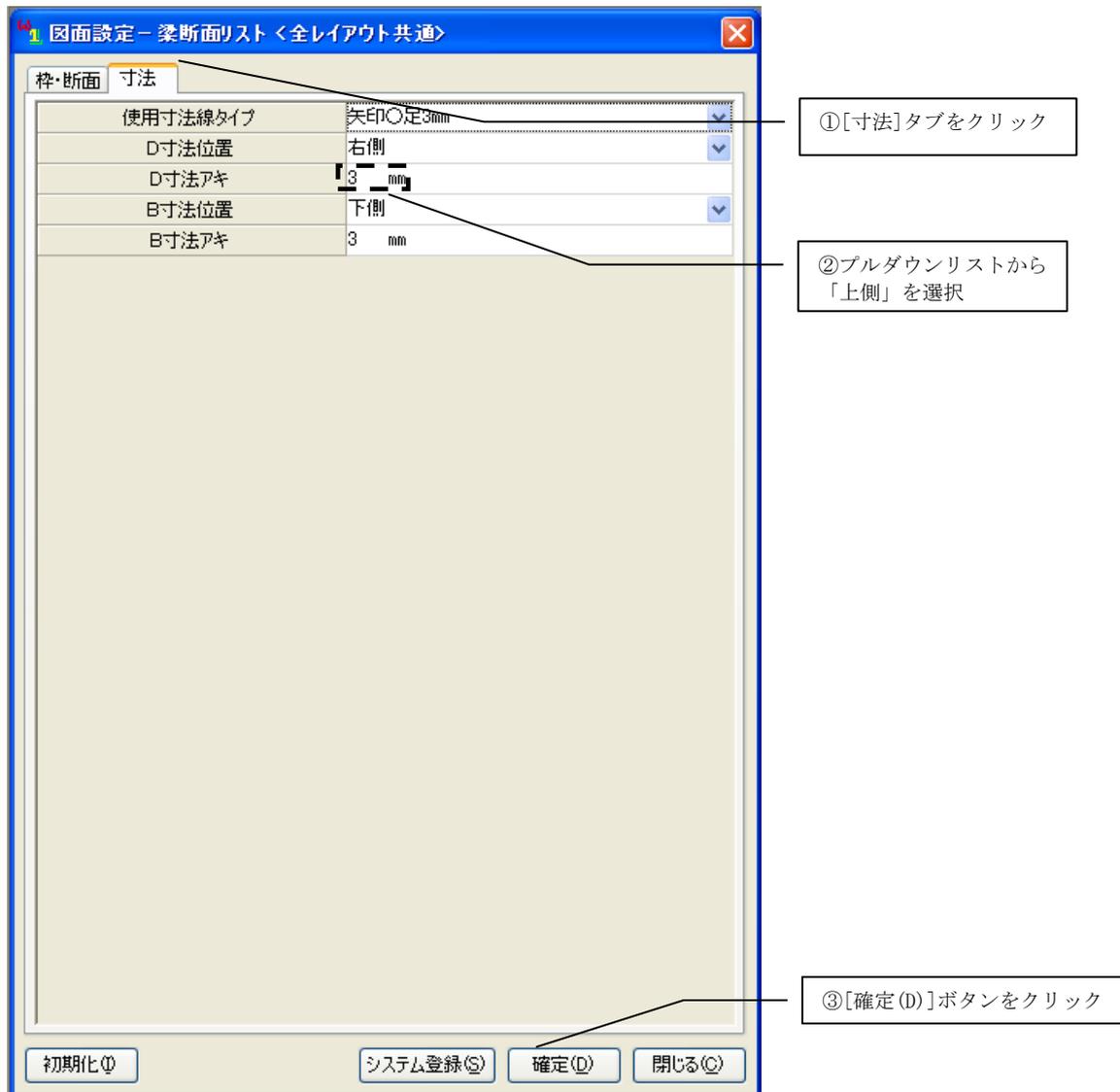
初期化 〇 システム登録 〇 確定 〇 閉じる 〇

[断面欄枠高さ]を「90 mm」に変更

[断面欄枠高さ]を「90 mm」に変更します。

④B寸法の位置を変更:「下側」→「上側」に変更

上部タブの[寸法]をクリックすると以下の画面が表示されます。

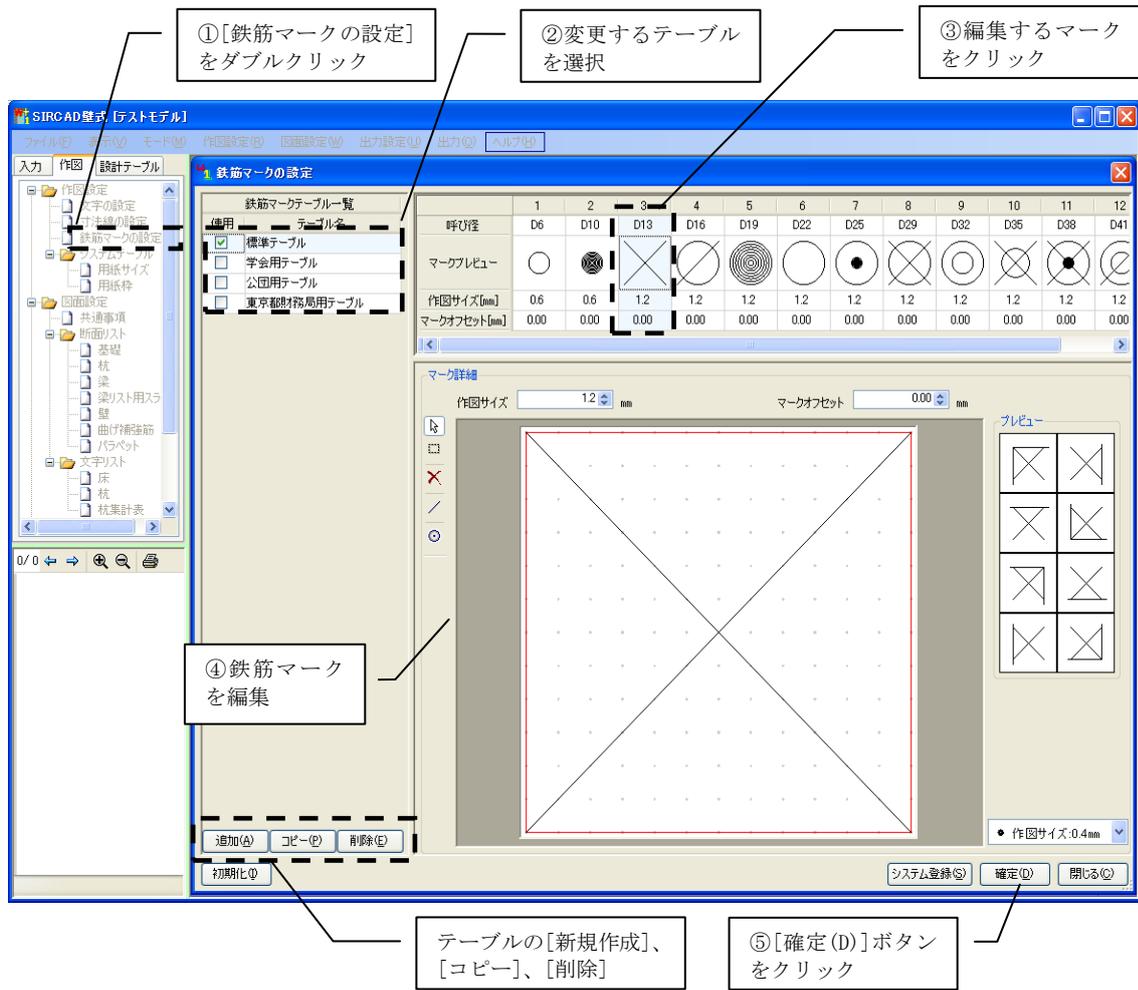


[B寸法位置]をクリックし、プルダウンリストから「上側」を選択します。

[確定(D)]ボタンをクリックすると、変更内容が図面に反映されます。

⑤鉄筋マークを変更

[作図設定]→[鉄筋マークの設定]を選択すると以下の画面が表示されます。



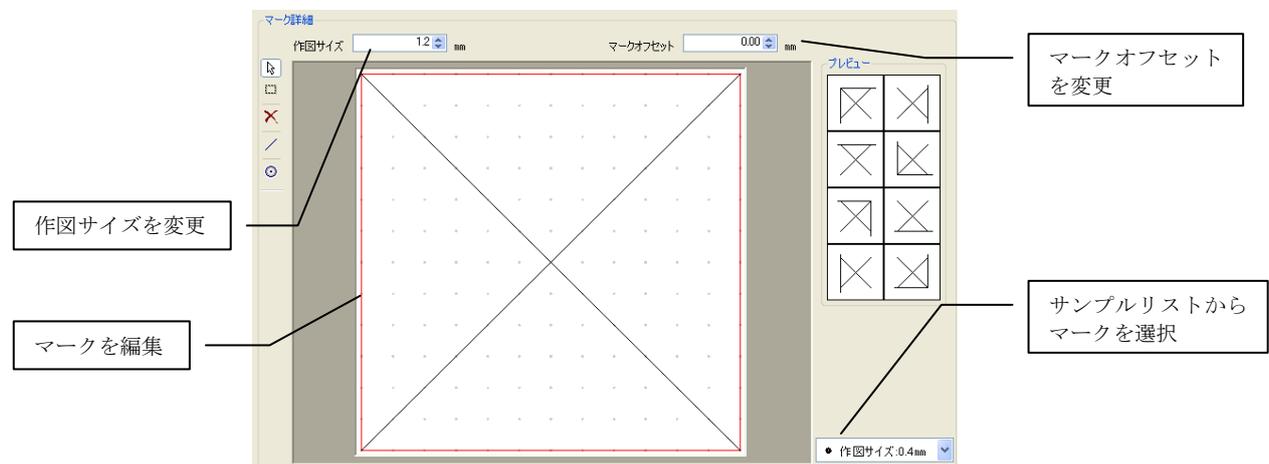
鉄筋マークを編集後、[確定(D)]ボタンをクリックすると、変更したマークが図面に反映されます。

《鉄筋マークテーブルの編集方法》

追加(A) **コピー(C)** **削除(E)** で鉄筋マークテーブルの新規作成、コピー、削除ができます。

《鉄筋マークの編集方法》

変更したい鉄筋マークを[マークテーブル]から選択し、クリックします。



*マーク編集の詳細については、ユーザーマニュアルの[入力編]を参照して下さい。

変更点を作図に反映させるには

設定画面の[確定(D)]ボタンを押すと、変更内容が図面に反映されます。

符号	FG1
位置	全断面
断面	
B × D	300 × 1800
上端筋	4 - D25
下端筋	4 - D25
肋筋	2 - D13 - @250
腹筋	6 - D13

④ B寸法の位置を変更

③ 高さを変更

⑤ 鉄筋マークを変更

② 表記名を変更

① 表記形式を変更

8 図面を印刷する

印刷する

印刷する図面を生成します。



出力レイヤーを指定し、[図面印刷] を選択します。

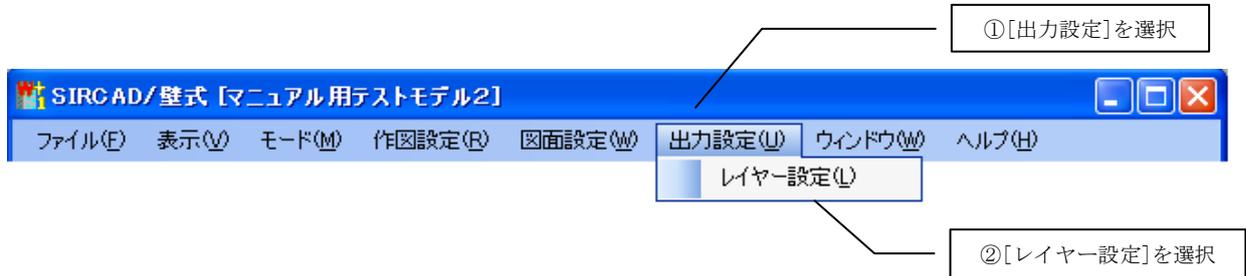


* [出力設定] - [レイヤー設定] で設定したテーブルが選択できます。

9 2DCADに変換する

『SIRCAD/壁式』で作成した図面を、さらに汎用 2DCAD で追加・編集を行う場合、CAD 変換をします。

CAD 変換の準備としてレイヤー設定を行います。



[レイヤー設定]を選択すると、以下の画面が表示されます。



必要に応じてレイヤー設定を変更し、[確定(D)]ボタンをクリックします。

≪複数行の同時設定≫

複数行を選択した状態でマウスを右クリックすると、選択している行全てを同時に設定することができます。ただし、同時に設定できるのは選択している項目が一種類の場合に限ります。



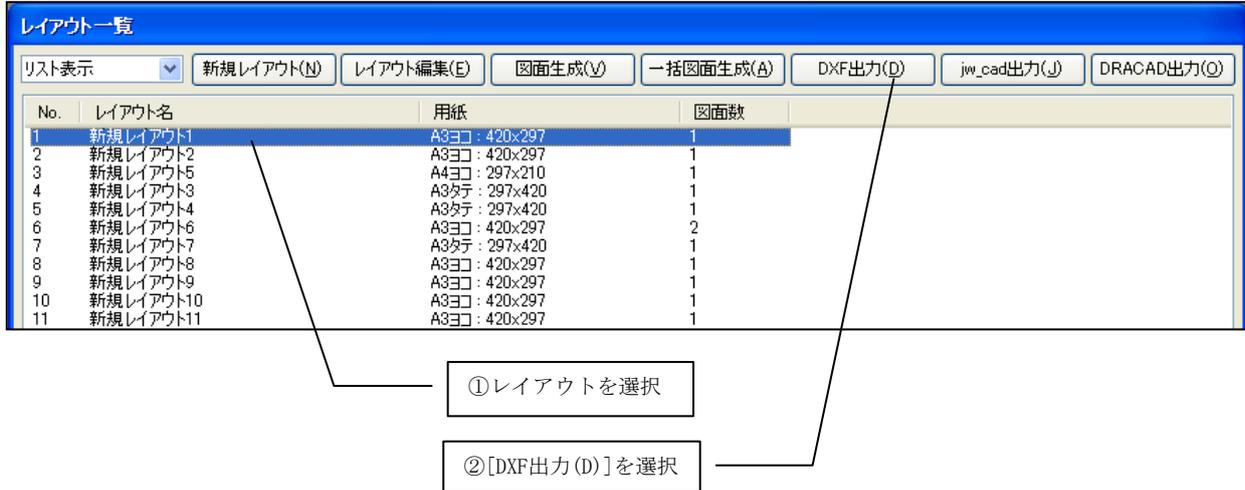
*レイヤー設定の詳細についてはユーザーズマニュアルの「出力設定」を参照して下さい。

AutoCAD (dxfファイル) に変換する

AutoCAD (dxf ファイル) に変換する方法を説明します。

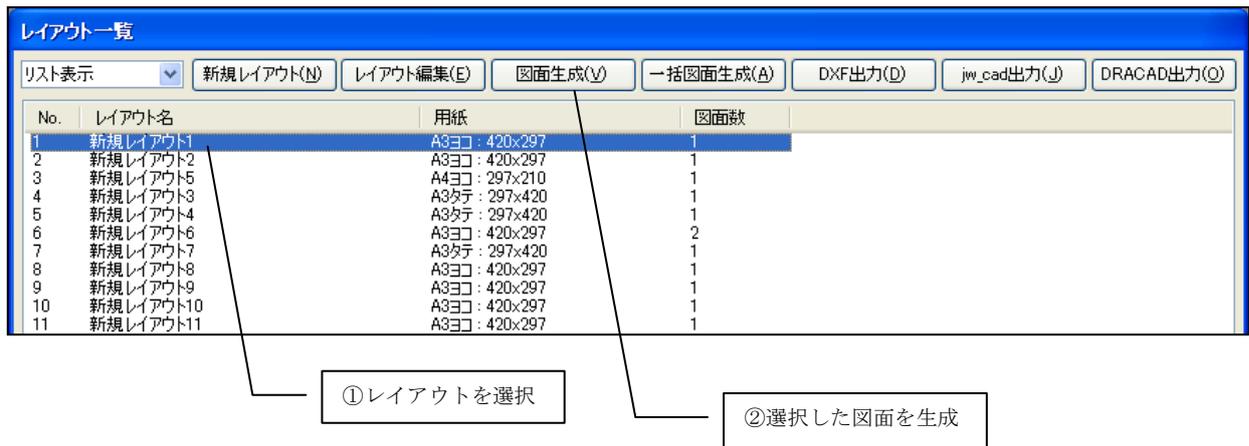
《レイアウト一覧画面から出力》

レイアウトを選択し [DXF 出力(D)] を選択すると、出力設定画面が表示されます。

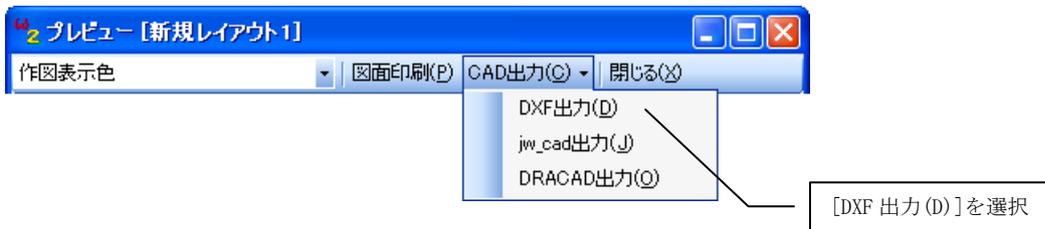


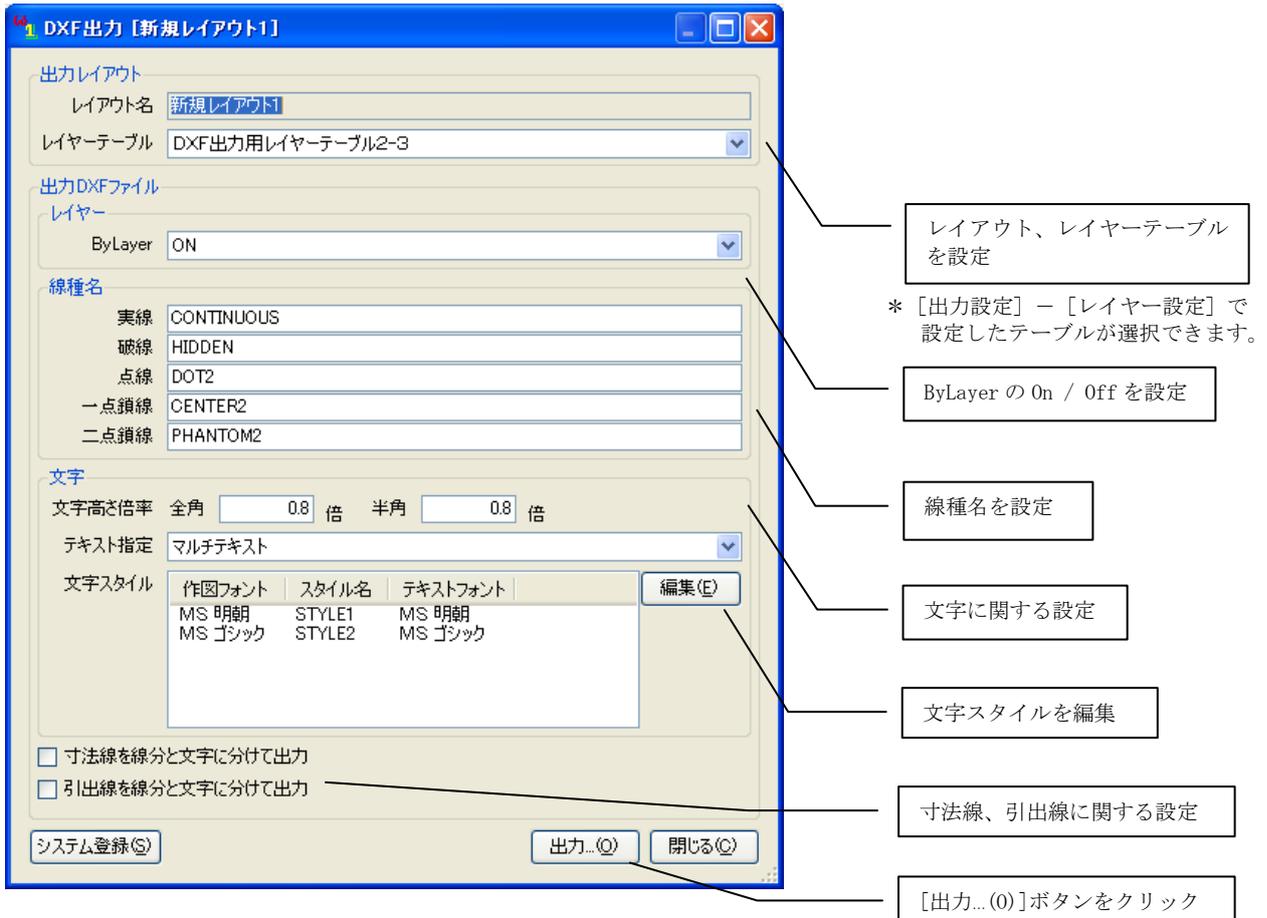
《プレビュー画面から出力》

出力する図面を生成します。



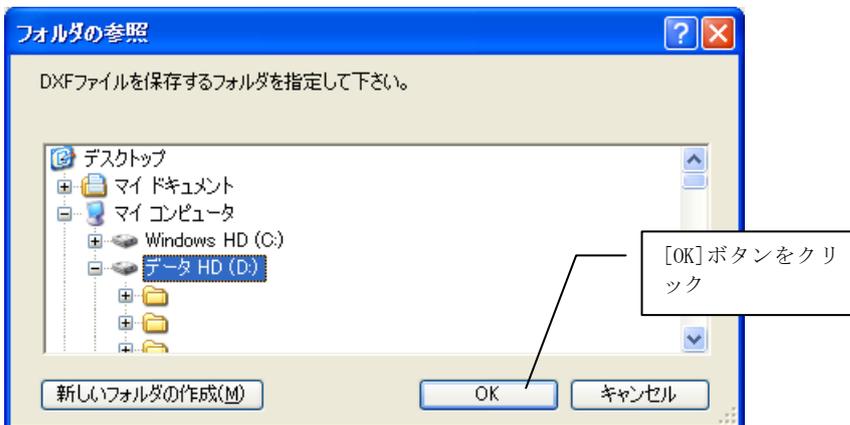
[DXF出力(D)] を選択すると、出力設定画面が表示されます。





レイヤーテーブル、ByLayer、文字等の設定をします。

[出力...(O)]ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



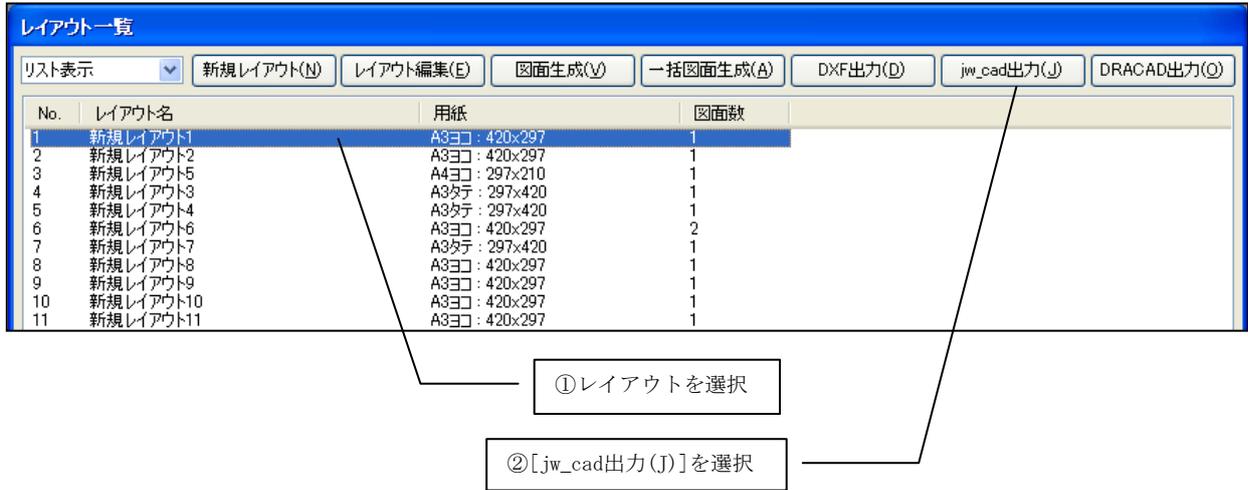
フォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックすると、変換したファイルが保存されます。

jw_cadに変換する

jw_cad に変換する方法を説明します。

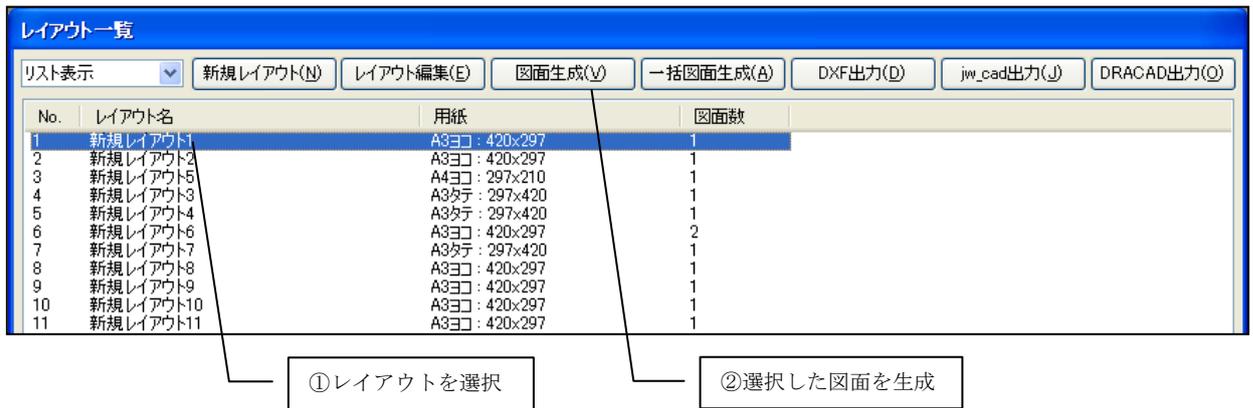
≪レイアウト一覧画面から出力≫

レイアウトを選択し [jw_cad 出力(J)] を選択すると、出力設定画面が表示されます。

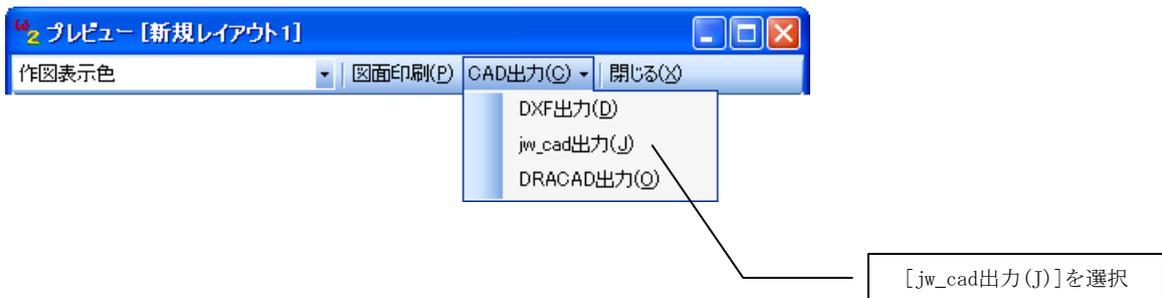


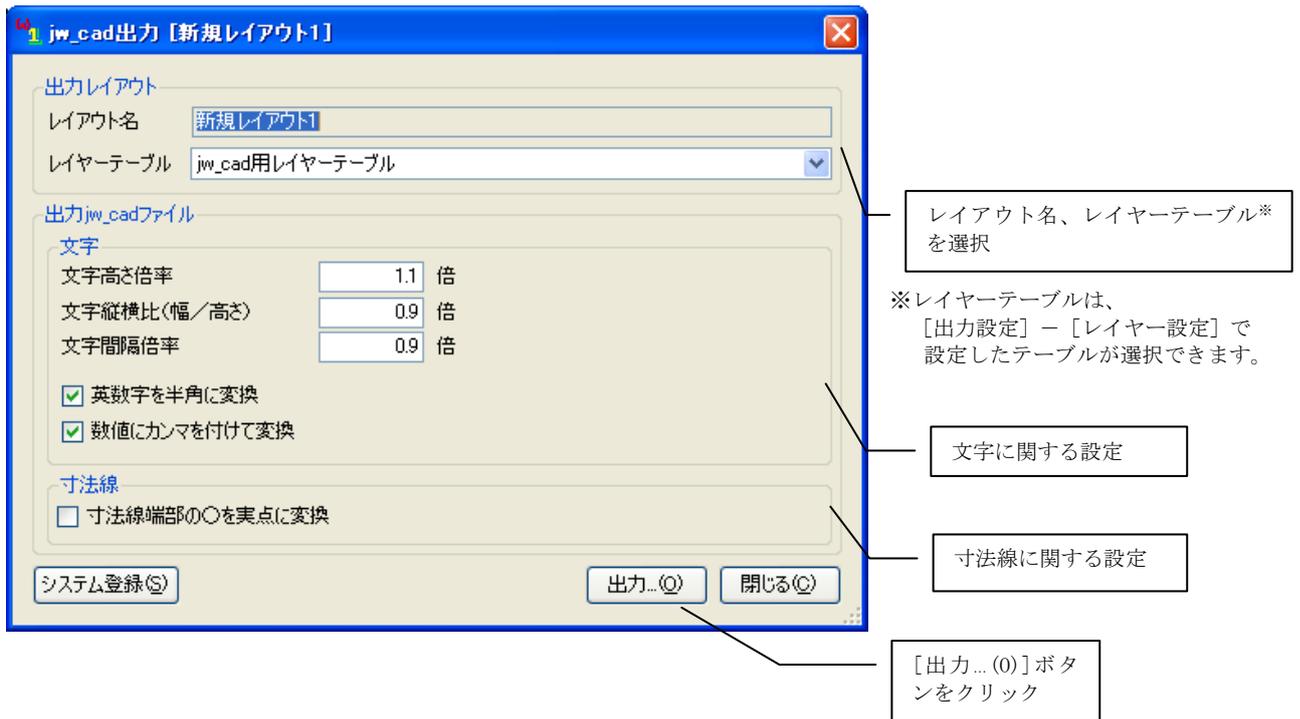
≪プレビュー画面から出力≫

出力する図面を生成します。



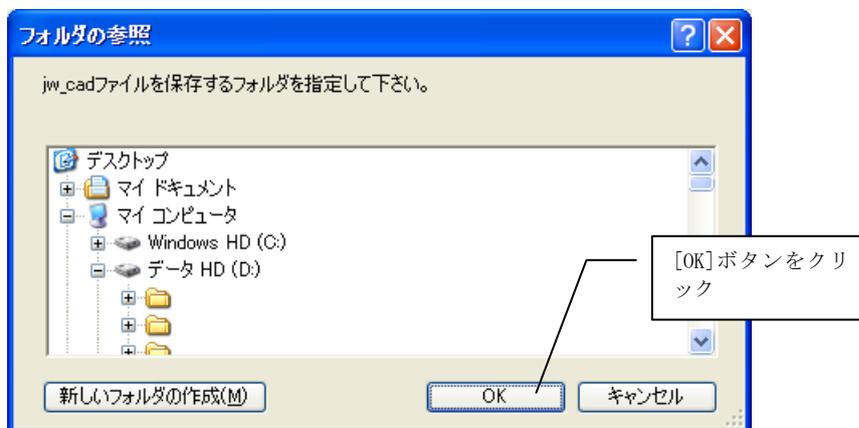
[jw_cad 出力(J)] を選択すると、出力設定画面が表示されます。





レイヤーテーブル、文字、寸法線の設定をします。

[出力... (O)] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



フォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックすると、変換したファイルが保存されます。

DRA-CADに変換する

DRA-CAD に変換する方法を説明します。

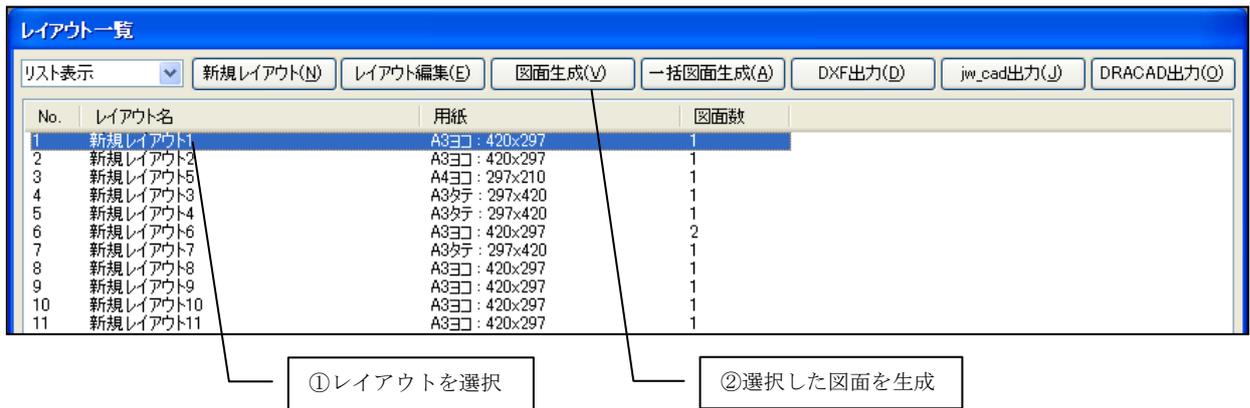
≪レイアウト一覧画面から出力≫

レイアウトを選択し [DRA-CAD(O)出力] を選択すると、出力設定画面が表示されます。

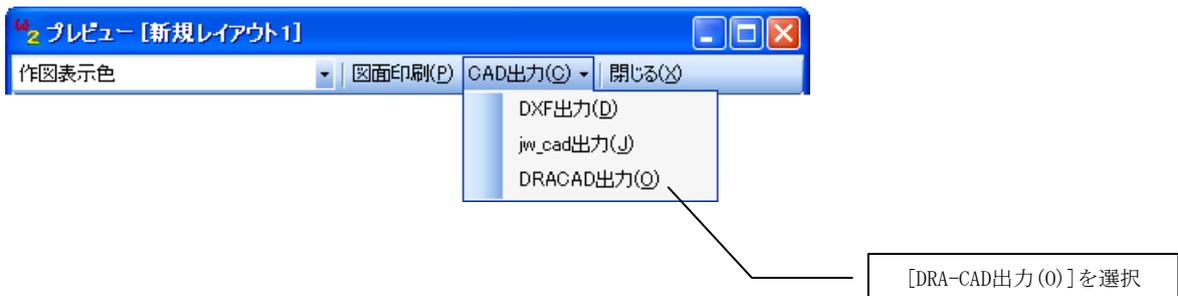


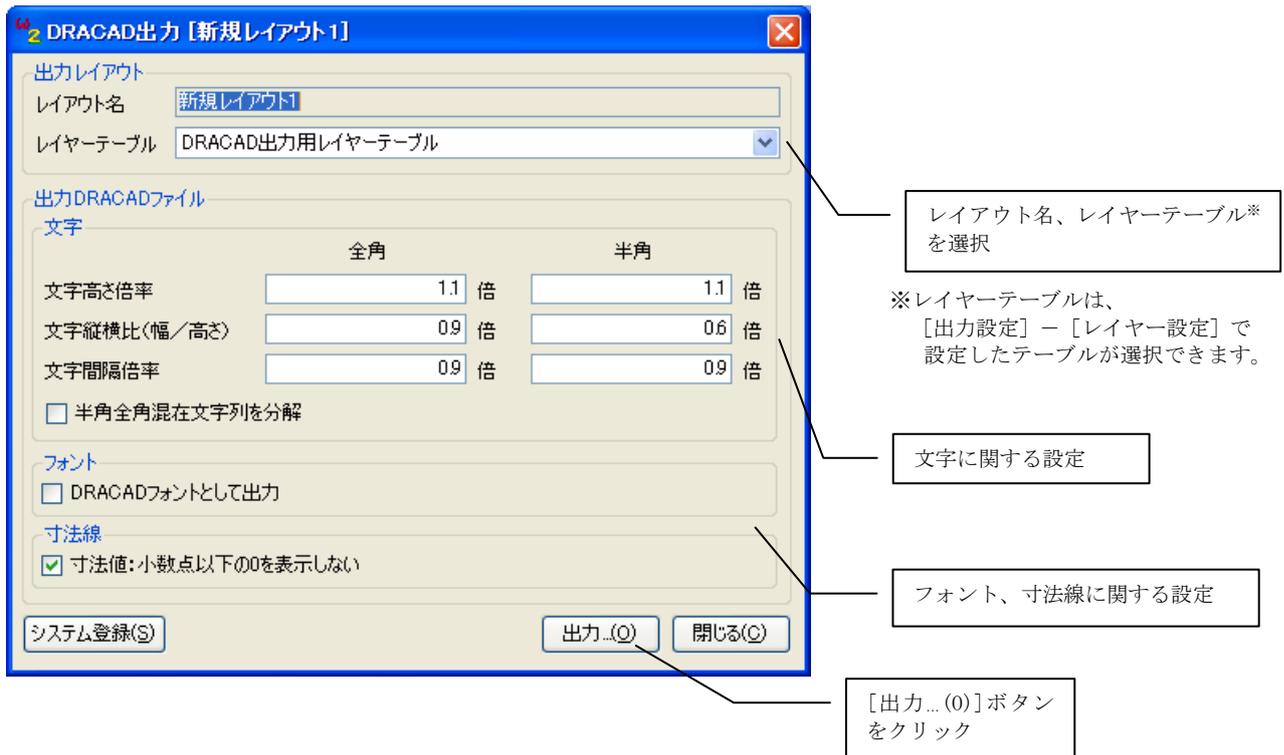
≪プレビュー画面から出力≫

出力する図面を生成します。



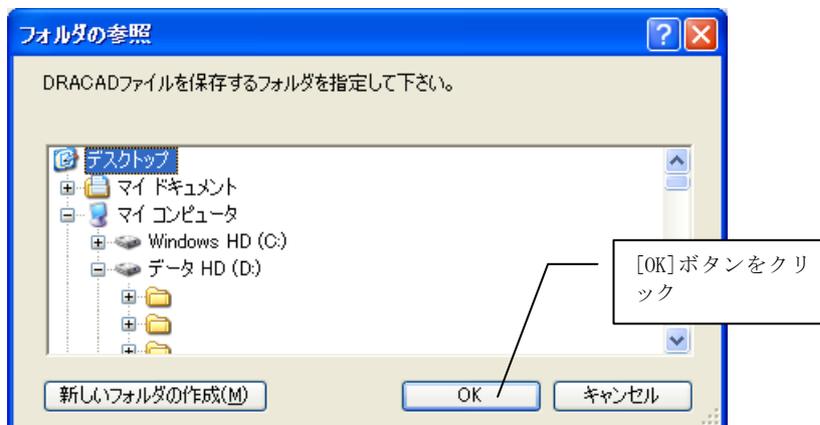
[DRA-CAD 出力(O)] を選択すると、出力設定画面が表示されます。





レイヤーテーブル、文字、寸法線の設定をします。

[出力... (O)] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



フォルダを指定し、[OK] ボタンをクリックすると、変換したファイルが保存されます。

10 製品サポートサービス

『SIRCAD／壁式』の製品サポートサービスについて説明します。

※『SIRCAD／壁式』のサポートサービスは、料金、期間、及び条件が予告なしに変更されることがあります。
※ホームページの内容、およびアドレスは予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先

メールサポート : support@scinc.co.jp
電話サポート : 03-3866-2095(代表)
弊社ホームページ : <https://www.scinc.co.jp>
最新版ダウンロードページ : https://www.scinc.co.jp/sircadw_dl.html

最新版を取得する

弊社ホームページから『SIRCAD／壁式』の最新版を取得できます。

弊社ホームページの『SIRCAD／壁式』最新版ダウンロードページを開きます。

http://www.scinc.co.jp/sircadw_dl.html

最新版／最終版セットアッププログラムのダウンロード				
SIRCAD／壁式				
最新版	SIRCAD／壁式 Ver1.0.0.0	5.34MB	2011/03/29	download SCNF 改変履歴
SIRCAD／壁式 スタートアップガイド(PDF)				
-- 改変履歴 --				
SIRCAD／壁式 Ver1.0 主な改変履歴				
-- 2011年 --				
Rev 1 2011/04/01 出荷 出荷開始				

[download] をクリック

[download] をクリックし、最新のインストーラをダウンロードします。

サポートオプション

弊社では、お客様のビジネスニーズにお応えできるようサポートサービスのご相談も承っております。
お気軽にお問い合わせ下さい。

謝辞

このたびの『SIRCAD／壁式』の開発にあたり、壁式 RC 造 構造図面に関して JSC 株式会社様より技術的協力を賜りました。ご協力に感謝申し上げます。

2013年8月
株式会社ソフトウェアセンター

SIRCAD／壁式
スタートアップガイド
<Program Ver2.0>

2013年08月 初版
2018年10月 改訂



株式会社 ソフトウェアセンター

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-6-2 大和ビル 6F
<https://www.scinc.co.jp/>